

第 6 次 埼 玉 県 地 域 保 健 医 療 計 画

川 越 比 企 保 健 医 療 圏

「 圏 域 別 取 組 」

関 連 施 策 推 進 状 況 調 書

(平 成 2 9 年 度)

川 越 市 地 域

埼 玉 県 坂 戸 保 健 所 管 内 地 域

埼 玉 県 東 松 山 保 健 所 管 内 地 域

平 成 3 0 年 2 月

埼 玉 県 川 越 比 企 保 健 医 療 圏 地 域 保 健 医 療 協 議 会

目 次

川越市地域 1

埼玉県坂戸保健所管内地域 19

埼玉県東松山保健所管内地域 59

【注】 この調書中、「これまでの主な取組状況・成果」
の欄に（単）の表記があるものは、当該市町村又は
保健所の独自の取組であることを示す。

第6次埼玉県地域保健医療計画

川越比企保健医療圏

「圏域別取組」

関連施策推進状況調書

(平成29年度)

川	越	市	地	域
---	---	---	---	---

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	①健康危機管理体制の強化
目 標	健康危機管理意識の向上のための普及啓発や関係機関の情報共有をさらに進めます。また、健康危機管理体制の策定内容の検証を行い、各種の健康危機に対し、より実践的な対応体制の構築に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康危機管理意識の向上のための普及啓発 ■新興感染症や既存感染症の感染拡大防止策と適切な医療体制の整備 ■災害時要援護者に対する支援体制の充実 ■食中毒や、飲料水汚染等による健康被害発生時の対応体制の整備

<川越市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理対策 2 新型インフルエンザ等への対策 3 川越市避難行動要支援者避難支援全体計画の推進 4 食中毒や、飲料水汚染等に係る事件対応等
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理対策 <ul style="list-style-type: none"> ・健康危機管理マニュアルを更新した。（単） ・保健所職員を対象に、災害時の危機管理について研修会を実施し、災害発生時の体制や活動、保健師活動について情報共有を図った。（単） ・健康危機管理に関する外部研修に参加した。（単） 2 新型インフルエンザ等への対策 <p>国県が実施する新型インフルエンザ対策訓練に合わせ、実地訓練として、保健所職員・地区消防職員で防護服着脱訓練、患者搬送訓練を実施。</p> <p>また、新型インフルエンザ発生時の対応について、研修会を2回開催し、職員間で情報を共有し、共通認識を図った。</p> 3 川越市避難行動要支援者避難支援全体計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月に制度を策定後、ホームページ・説明会等を通じて、周知を図っている。（単） ・避難行動要支援者の名簿については、警察、消防、民生委員のほか同意を得て覚書を結んだ自治会にも配布をしている。（単） ・覚書を結んだ自治会は平成28年9月現在、全体の21%（62自治会）である。 4 食中毒や、飲料水汚染等に係る事件対応等 <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒対応マニュアル、飲食物への毒物・劇物混入事件対応マニユ

	<p>アル及び飲料水への毒物・劇物混入事件マニュアルを整備し、食中毒や飲料水汚染等による健康被害が発生した場合に、関係機関等での情報収集、情報提供を迅速に行い、被害拡大の防止に努めている。(単)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の飲食店、工場、販売店等の食品営業施設及び学校給食センター、保育園、社会福祉施設等の給食施設に対する監視指導を実施し、食中毒の発生防止を図っている。(単) <p>監視延数 H26年度 4,969件 H27年度 4,319件 H28年度 4,423件</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内で調理、製造、販売される弁当、惣菜、野菜、食肉、魚介類、清涼飲料水等、様々な種類の食品の抜き取り検査を実施し、食品衛生の確保を図っている。(単) <p>収去検体数 H26年度 333検体 H27年度 336検体 H28年度 337検体</p> <ul style="list-style-type: none"> 食中毒予防の街頭キャンペーンや講習会などを実施し、正しい食品衛生知識の普及啓発に努めている。(単) <p>衛生教育 H26年度 14回 H27年度 14回 H28年度 22回</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後も研修会等を実施し健康危機管理の意識の向上に努める。 2 引き続き、訓練等を継続し、発生時に備えるとともに、体制を強化していく。 3 今後、自治会等にさらに周知を図り、締結数を増やす。 4 今後も食品営業施設等の監視指導や食品の抜き取り検査を継続して実施し、食中毒予防など食品衛生の確保に努める。

<川越市医師会>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 インフルエンザへの対応 2 熱中症対策 3 災害時の救護体制の検討
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 インフルエンザへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関においてインフルエンザを疑う事例があった場合の具体的な対応方針及び、夜間休日診療所での対応や検査方法等について夜間休日診療所運営委員会を開催しての検討。 ・川越市保健所との意見交換。 2 熱中症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者を対象に、熱中症対策講演会等の実施。 3 災害時の救護体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における救護体制について情報収集を含めて、関係機関との訓練の実施。

今後の事業展開 ・課題等	新興感染症等の発生事態に備え、迅速に対応できる体制づくりが必要。
-----------------	----------------------------------

<川越市薬剤師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 川越市医師会 休日・平日夜間診療所への薬剤師の派遣 2 熱中症対策に対する啓蒙活動・対応 3 新型インフルエンザに対する対応体制の整備
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 川越市、川越市医師会と協力してのインフルエンザなどの緊急体制に対する薬剤師の派遣。 2 各薬局においては、川越市総合保健センターと協力し、熱中症に対する啓蒙活動及び、対象患者様に対する救急活動。医師会・薬剤師会と協力しての研修会を実施した。 3 新型インフルエンザに対する対策対応の整備。 (川越市医療問題協議会) 4 医師会・薬剤師会合同研修会実施「最新のインフルエンザ診療」
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 川越市医師会休日・平日夜間診療所におけるインフルエンザなどの緊急事態、患者様の急増に対応して、薬剤師を派遣し調剤業務に協力する。 2 薬局は医療の窓口として、健康相談。OTC薬の相談・販売、熱中症、デング熱などのいろいろな疾病に対応していく。

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	②生活習慣の改善を含む健康増進対策の推進
目 標	ライフステージに対応した多様な健康増進事業を展開し、特に、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等の課題に関して、住民参加を基本に住民自らが生活習慣の改善に取り組める地域づくりを進めます。さらに、地区組織、ボランティア団体、大学等と協働し、地域全体で健康を支え合うことにより、健康長寿を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康増進に関する知識の普及啓発 ■地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進 ■糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ■ライフステージに対応した健康増進事業を地域で進めるための人材育成

＜川越市＞

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康講座、教室、生活習慣病等講演会及び健康まつり 2 食事・運動・健診を柱とした健康づくり「ときも健康プロジェクト いきいき川越大作戦」 3 生活習慣病重症化予防事業（糖尿病性腎症重症化予防事業） 4 特定健康診査・特定保健指導
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康講座、教室、生活習慣病等講演会及び健康まつり ①健康講座、教室及び生活習慣病等講演会 「健康かわごえ推進プラン（第2次健康日本21・川越市計画／第2次川越市食育推進計画／川越市歯科口腔保健計画）」に基づいて、健康づくりの講座、教室、講演会を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操マスター講習会の開催、自治会等からの依頼による講座を実施した。 （ラジオ体操マスター講習会） 平成27年度 2回・参加者数延 176人 平成28年度 2回・参加者数延 365人 （依頼による講座の実施） 平成27年度 116回・参加者数延 4,190人 平成28年度 160回・参加者数延 7,286人 ・生活習慣病予防のための運動・栄養に関する教室を開催 （川越市ときも健康プロジェクト健康講座） 平成27年度 3回・参加者数延 158人 平成28年度 2回・参加者数延 62人

	<p>(運動教室)</p> <p>平成27年度 60回・参加者数延 859人 平成28年度 80回・参加者数延 1,089人</p> <p>(栄養教室)</p> <p>平成27年度 10回・参加者数延 113人 平成28年度 11回・参加者数延 111人</p> <p>②健康まつり</p> <p>関係団体と庁内関係課が、「健康かわごえ推進プラン」における8分野に基づいて、コーナーを企画し、健康づくりに取り組むきっかけづくりの情報提供を行った。ウェスタ川越で開催。</p> <p>平成27年度 参加者数 4,200人 平成28年度 参加者数 4,500人</p> <p>2 食事・運動・健診を柱とした健康づくり「ときも健康プロジェクト いきいき川越大作戦」</p> <p>健康寿命を延伸し、いきいきと健やかで心豊かに生活できるよう食事・運動・健診を3つの柱とした「ときも健康プロジェクト いきいき川越大作戦」を平成25年度から開始。ラジオ体操の推進については、地域等でほぼ毎日自主的にラジオ体操を実施している会場が、市内29箇所となった。</p> <p>3 生活習慣病重症化予防事業（糖尿病性腎症重症化予防事業）</p> <p>第2期川越市国民健康保険特定健康診査等実施計画および川越市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、生活習慣病の発症及び重症化予防を図るために、受診勧奨値以上の者を対象に糖尿病予防等を重点的に事業展開している。（H29年度受診勧奨通知348人、生活指導47人）</p> <p>4 特定健康診査・特定保健指導</p> <p>特定健康診査受診率 H26年度39.8% H27年度40.9% H28年度40.7%</p> <p>特定保健指導実施率 H26年度10.9% H27年度12.3% H28年度14.0%</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 健康づくりを推進するための環境整備に今後も取り組んでいく。「ときも健康プロジェクト いきいき川越大作戦」や、ラジオ体操の推進など具体的な取組を進めていく。</p> <p>2 健康かわごえ推進プランにより、健康、食育、歯科口腔の3つの計画を、相乗効果が発揮できるよう一体的かつ総合的に推進する。</p> <p>3 平成29年度に川越市国民健康保険 第2期保健事業等実施計画（データヘルス計画）を策定し、平成30～35年度を計画期間としてPDCAサイクルに沿った事業を展開する。</p> <p>第2期データヘルス計画では、個々の状況に合わせた啓発や事業</p>

	の実施を予定している。生活習慣病重症化予防事業、高血圧症予防の保健指導、健康意識改善に向けた啓発（健診データを利用し個人毎のアドバイスを記載した通知の発送）等を行う。
--	---

<川越市医師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康増進に関する講演 2 健康増進への協力 3 川越市健康づくり推進協議会への参加
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康増進に関する講演会等 <ul style="list-style-type: none"> ・川越市で開催する、講演会への講師派遣。 ・川越市市民講演会の開催。（川越市と共催） ・会員においては、関係者との連携を図り講演会を開催し知識の研さんを積んだ。 2 健康増進への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・川越地区ブルーライトアップ実行委員会主催『ブルーライトアップ』において、川越市、川越市医師会、川越市歯科医師会と共援。 3 川越市健康づくり推進協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・川越市健康づくり推進協議会へ委員参加。
今後の事業展開 ・課題等	健康増進対策事業の推進にあたり、関係機関と連携のうえ進めていく。

<川越市薬剤師会>

関連施策名	健康づくりに対する薬の役割
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 公民館、生活情報センターなどにおいて、「薬の飲み方」の講習会に講師を派遣し、生活習慣病の知識の普及、啓発活動を実施した。 2 ウェスタ川越で開催された「川越市健康祭り」における市民に対する薬の相談、指導を実施した。 3 地域包括ケアセンターと協力してオレンジカフェなど地域住民に薬剤師として参加できる場面を増やした。 4 介護施設などにおける各種関連業種との連携。
今後の事業展開 ・課題等	高齢者社会に対応すべく、関係機関と協力して、活動を進めていく。

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	③精神保健福祉医療対策
目 標	必要な人が速やかに保健・福祉・医療の支援を受け、円滑な地域生活が送れるように、関係機関の連携を強化します。また、精神保健に関する知識の普及啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■心の健康に関する専門医療機関と一般医療機関や保健・福祉に係る関係機関等との連携強化 ■自殺予防対策の推進 ■メンタルヘルスに関する知識の普及啓発 ■薬物乱用防止の普及啓発及び薬物問題に悩む本人・家族への相談体制の整備

<川越市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域自殺対策強化学業 2 普及啓発事業 3 薬物乱用防止啓発活動等
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域自殺対策強化学業 <ul style="list-style-type: none"> ・うつやアルコールに関する相談を実施。（単） うつに関する延相談者数 H26年度26人 H27年度25人 H28年度28人 アルコールに関する相談 H26年度32人 H27年度32人 H28年度25人 ・地域職域保健事業として、企業の担当者を対象に職場のメンタルヘルスに関する研修会や情報交換を実施。（単） 延参加者数（実施回数） H26年度42人（3回） H27年度48人（2回） H28年度35人（2回） 2 普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス講演会やひきこもり公開講座を実施。（単） メンタルヘルス講演会 参加人数（実施回数） H26年度189人（1回） H27年度138人（2回） H28年度322人（1回） ひきこもり公開講座 参加人数（実施回数） H26年度47人（1回） H27年度38人（1回） H28年度81人（1回） ・精神保健福祉家族教室を実施。（単） 統合失調症編 延参加者数（実施回数） H26年度78人（6回） H27年度92人（6回） H28年度143人（8回）

	<p>うつ病編 延参加者数（実施回数） H27年度34人（2回） H28年度36人（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自殺対策連絡会議を年2回、自殺予防対策庁内連絡会議を年1回実施（単） • 図書館キャンペーン 図書館に特設コーナーを設置し、自殺対策とメンタルヘルス等の関連図書を展示・貸し出し・パンフレットの配布 • 東日本大震災被災者等向け暮らしとこころの総合相談会 in 川越県と共催で、多重責務・生活・失業相談、こころの健康相談を実施 • 駅における自殺防止キャンペーン 鉄道会社と協働で、自殺防止に関する啓発グッズ（カード入りティッシュ等）を配布 <p>3 薬物乱用防止啓発活動等 広報紙、リーフレット、ポスター等による啓発のほか、県・関係団体等と協力してイベント会場での啓発活動（年2回）、街頭キャンペーンを実施した。 薬事担当と精神保健担当が連携し、薬物依存に係る相談に対応している。</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 ひき続き、相談体制や関係機関との連携を強化し、自殺対策や精神保健福祉対策の充実を図る。</p> <p>2 ひき続き、薬物乱用防止の啓発活動、薬物依存に係る相談対応に努める。</p>

<川越市医師会>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 埼玉県におけるうつ病及び自殺予防対策 2 川越市における自殺予防対策 3 うつ病に対する病診連携の構築 4 川越市における精神医療対策
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 埼玉県におけるうつ病及び自殺予防対策 <ul style="list-style-type: none"> • かかりつけ医等医療従事者向けうつ病対応力向上研修会へ参加し、委員を選出しての協力。 • 埼玉県の精神救急医療研修事業への協力。 2 川越市における自殺予防対策 <ul style="list-style-type: none"> • 川越市自殺対策連絡協議会への委員を出しての協力。 3 うつ病に対する病診連携の構築 <ul style="list-style-type: none"> • うつ病に対する病診連携への参加。 4 川越市における精神医療対策 <ul style="list-style-type: none"> • 医師会員においてはメンタルヘルスについて関係機関との連携を図り講演会での知識の研さんを積んだ。

今後の事業展開 ・課題等	現在社会におけるうつ病患者の増加や、それによる増加を抑制する数々の試みに対し、医師会として積極的に応援・協力をを行い、数々の問題に対応していくことが課題である。
-----------------	--

<川越市薬剤師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神医療に関する勉強会の実施。 2 川越市と協力して自殺予防対策会議に出席。 3 ゲートキーパーとしての活動 4 埼玉県薬剤師会として研修会を実施。
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 川越市医師会と協力して、精神病の勉強会を実施 2 精神疾患患者の薬の管理、残薬の管理に各薬局が協力。 3 薬局・薬剤師がゲートキーパーの役割を担う上で、必要な知識と技術を身につける講習会を実施した。 4 川越市保健所のゲートキーパー養成講習会に参加し、臨床心理士からの心理的な面でのかわりについて勉強した。
今後の事業展開 ・課題等	薬局では、うつ病など軽度な患者様の生活指導、栄養相談、悩み相談を通して医療の窓口として積極的に関わっていく。

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	④親と子の保健対策
目 標	子どもたちが健やかに成長できるように、妊娠・出産期からの相談体制の整備をさらに進めます。また、育児に対する不安や負担感を持っている家庭への支援のための地域ネットワークづくりに努めます。親と子のライフステージ全体を視野に入れた支援ができるように、関係機関の連携を強化します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の子育て支援体制の充実 ■ 健康上の課題のある子どもと家庭への支援体制の充実 ■ 育児の要支援家庭や児童虐待の心配のある家庭への支援体制の充実 ■ 心の健康問題に関する相談体制の充実と関係機関の連携強化 ■ 人材育成を推進するための研修体制及びネットワークの整備

<川越市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童福祉法第19条に基づく小児慢性特定疾病医療費助成制度 2 妊娠期からの虐待予防強化事業 3 訪問指導 4 母子保健連絡調整会議 5 母子保健従事者研修
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 小児慢性特定疾病にかかっている児童等であって、当該疾病の程度が一定以上であるものの保護者に対して、申請に基づき、医療に要する費用（小児慢性特定疾病医療費）を支給している。 平成25年度 262人 平成26年度 264人 平成27年度 287人 平成28年度 310人 2 県内の産婦人科等を標榜する医療機関等と連携し、児童虐待の心配がある等の妊娠期から支援が必要な世帯に対して、保健師・母子保健コーディネーターが電話連絡・家庭や病棟への訪問等により関わりを持ち、出産後も訪問指導等を実施し、継続支援している。 ・ケース連絡件数 平成26年度 78件 平成27年度 88件 平成28年度 182件 また、母子健康手帳交付時に、母子保健コーディネーターが面接やアンケートを実施し相談に応じ、妊娠・出産・育児に関する情報提供を行っている。専用電話による相談事業も実施している。 3 要支援世帯に対して、保健師や助産師等が訪問指導を実施してい

	<p>る。（新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん訪問、要指導者への訪問指導、健診未受診児訪問含む）（単）</p> <p>平成26年度 実績4,080件 平成27年度 実績4,517件 平成28年度 実績5,271件</p> <p>4 市内の分娩実施医療機関、新生児訪問指導・こんにちは赤ちゃん訪問担当者、市の地域保健担当保健師が参加し、情報交換・研修等を実施している。関係機関の状況を把握し、日頃からの連携強化を図っている。また、児童虐待に関しては、要保護児童対策地域協議会に参加し個別ケース会議や情報交換を行い、関係機関との連携強化を図っている。</p> <p>5 市の母子保健事業に従事する保健師、助産師、看護師等に対して、年1回以上の研修会を実施し、情報の提供、資質向上の機会としている。（単）</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の実施 必須事業（小児慢性特定疾病児童等の保護者等へ対する相談事業）は既に実施しているところであるが、任意事業（レスパイト、相互交流支援、就労支援、家族支援）の実施の可否等について県・さいたま市・越谷市と合同で開催している慢性疾病児童地域支援協議会等の場を活用し、適宜検討を重ねていく。</p> <p>2 母子保健活動においては児童虐待防止、発達障害早期発見、産後うつ等母親の精神的問題に対する支援等課題が多い。今後も会議や研修会の開催等により関係機関との連携を深め、母子保健関係者の資質の向上に努める。</p>

<川越市医師会>

関連施策名	<p>1 川越市母子保健事業への協力 2 川越市学校保健事業への協力 3 小児医療に関する研修会の開催</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 乳幼児健診等に協力し、保護者からの子どもの健康に関する相談なども受けている。</p> <p>2 学校医として、定期健診をはじめ、学校生活における健康相談等も必要に応じて実施。児童・生徒の健康の保持増進ならびに健康教育に努めている。</p> <p>3 小児医療に関する研修会を開催し、知識の研さんを積んだ。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>今後も、行政と連携しながら、親と子どもが安心して生活を送れるよう、地域の保健事業に対し、積極的に協力していきたい。</p>

<川越市薬剤師会>

関連施策名	学校薬剤師として、子供の保健対策に協力する。
これまでの主な 取組状況・成果	川越市の公立中学・小学校を中心に、学校の環境検査、飲料水プール水などの検査を通じて環境整備に尽力し、学校保健会などに出席して親子間の保健対策を指導した。 また、各学校薬剤師が、小学校・中学校に出向いて、薬物乱用防止講習会を実施した。 台風21号による災害の影響を受けた学校の環境整備指導。
今後の事業展開 ・課題等	今後も積極的に協力していく。

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	⑤歯科口腔保健対策
目 標	8020 運動の目標達成を目指し、う蝕（むし歯）と歯周疾患の予防のため、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた効果的な歯科口腔保健を推進します。また、在宅で療養する患者や老人福祉施設等の入所者が質の高い生活を送れるように歯科診療の提供及び口腔ケアの普及に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科保健に関する知識の普及啓発 ■ 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 ■ 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発 ■ 口腔ケアの普及啓発

<川越市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科口腔保健推進連絡会議 2 幼児のむし歯予防推進事業 3 障害者（児）歯科保健事業 4 歯科口腔保健推進事業【歯科健診（妊産婦、1歳6か月児、2歳児親子、3歳児、成人、歯周病、後期高齢者）、各種教育・相談・介護予防・啓発事業】
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科口腔保健を推進するため、関係機関等と意見交換、連絡調整及び連携強化を図っており、歯科口腔保健施策の総合的な取組みを推進した。（単） 2 幼児のむし歯予防推進事業では、市内保育施設等の中で希望する施設（44施設）を対象に、フッ化物洗口事業を実施した。また、対象となる児すべてが事業に参加できるよう、未実施園への働きかけを行った。（単） <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口事業実施園児数 H25年度 391人 H26年度 1,280人 H27年度 1,438人 H28年度 1,529人 3 障害者（児）歯科保健事業では、障害等のある方やその介護者等に対し、歯科健診、歯科保健指導、研修会等を実施した。また、歯科の相談窓口や診療についてのリーフレットを配布し、普及啓発を図った。（単） <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診・歯科保健指導実施施設数

	<p>H25年度 12施設 H26年度 14施設 H27年度 17施設 H28年度 18施設</p> <p>4 歯科口腔保健に係る施策を推進するため、川越市歯科口腔保健の推進に関する条例、川越市歯科口腔保健計画に基づき、母子、学校、成人、障害者（児）歯科保健、介護予防事業等を実施した。また、川越市歯科医師会を始めとする関係団体と協力し、歯ッピーフェスティバルや健康まつりなどのイベント等を通し、啓発活動を実施した。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>歯科口腔保健の推進に関する条例及び歯科口腔保健計画に基づき、関係団体、関係機関等と連携し、全てのライフステージの特性に合わせた切れ目のない効果的な施策の展開を図る。</p>

<川越市歯科医師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯ッピーフェスティバル、川越市健康まつり 2. 休日歯科診療事業、高齢者・障害者の福祉の推進を目的とする事業 3. 母子歯科健康事業、歯周疾患検診事業、後期高齢者医療歯科健康診査事業、幼児のむし歯予防推進事業(フッ化物洗口事業他) 4. 学校歯科検診事業 5. 地域在宅歯科医療推進体制整備事業
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯ッピーフェスティバルを川越市と共催し、以下のような歯科に関する啓発及び相談を行っている。フッ素塗布、フッ素洗口、歯みがき指導、歯の相談、歯科職業体験、8020表彰、凶画、ポスターコンクール作品の展示及び優秀作品の表彰。歯科医師会従事者数69名。 来場市民概数：H27年度 1300人、H28年度 1150人 健康まつり（従事者数8名）に参加し、フッ素塗布、フッ素洗口、歯の相談、歯科検診などを行っている。 2. 休日歯科診療を川越市予防歯科センターにて日曜日、国民の休日、年末年始に行っている。社会福祉施設の利用者の歯科健康診査を行うとともに、歯科疾患予防のための歯科保健知識の普及、啓発活動を行っている。 患者数：H27年度 226名、H28年度 227名 3. 妊婦に対して歯科検診・指導・相談、1, 6歳児、2歳児、3歳児及び2歳児の保護者を対象に歯科検診・フッ素塗布を行っている。川越市歯科医師会所属の歯科医師が保育園、市内全5歳児を対象に平成26年度より開始。川越市歯科医師会に所属する歯科診療所において、成人の節目年齢と後期高齢者(80歳)における歯周疾患検診・保健指導を行っている。 川越市の幼稚園、保育園に対してフッ化物洗口の普及。園児の保護者に対して歯科保健指導及びフッ化物洗口説明会の開催。5歳児に

	<p>対してフッ化物洗口の実施。健康教育として埼玉県歯科衛生士会の歯科衛生士が各園に行き、指導。11月に園関係者に対しむし歯予防の研修会を開催。</p> <p>4. 川越市歯科医師会会員が毎年10月～12月末まで小学校一年生、中学校一年生に対しDVDやパワーポイントを使って歯科保健指導を行っている。保健主事、養護教諭に対し行っている学校歯科保健指導者研修会は、今年度は養護教諭対象に当会理事が「口呼吸改善で病気を防ごう！病は原因除去が大切・口輪筋を鍛えてアンチエイジング」という演題で開催。</p> <p>5. 在宅療養者、入院患者及び施設入所者に対する歯科医療提供 H27年度 19人、H28年度 20人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師に対する研修（2回） ・歯科医師を地域の病院へ派遣し、入院患者の口腔状況を把握 <p>H27年度 50人、H28年度 85人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療に関する多職種推進体制等の構築の為、川越地域包括推進協議会に参画。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園のフッ化物洗口事業の普及。実施園の増加に努める。より、安全にフッ化物洗口が行えるように情報収集、話し合いをしていく。 ・歯科受診の有用性を啓発する体制づくり ・母と子の歯科検診の拡充、幼児のむし歯予防推進事業の拡充、歯周疾患検診の拡充、後期高齢者医療歯科健康診査事業の拡充

第6次埼玉県地域保健医療計画

川越比企保健医療圏

「圏域別取組」

関連施策推進状況調書

(平成29年度)

埼玉県坂戸保健所管内地域

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	①健康危機管理体制の強化
目 標	健康危機管理意識の向上のための普及啓発や関係機関の情報共有をさらに進めます。また、健康危機管理体制の策定内容の検証を行い、各種の健康危機に対し、より実践的な対応体制の構築に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康危機管理意識の向上のための普及啓発 ■新興感染症や既存感染症の感染拡大防止策と適切な医療体制の整備 ■災害時要援護者に対する支援体制の充実 ■食中毒や、飲料水汚染等による健康被害発生時の対応体制の整備

〈坂戸市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症対策 2 健康危機管理に関する情報収集 3 災害時における医療救護体制の充実 4 新型インフルエンザ等の感染防止対策
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症対策として、広報やホームページへの掲載、ポスター掲示、ちらし等の配布を行った。（単） 2 感染症、食中毒や熱中症など様々な健康危機に関する情報収集及び広報を行い、市民の健康危機へのリスク低減に努めた。（単） 3 坂戸鶴ヶ島医師会をはじめとする関係機関と連携し、災害時における医療救護体制の情報共有などに努め、市防災訓練において保健衛生班・医療救護班としてトリアージ訓練を実施した。（単） 4 国が実施する新型インフルエンザ等対策行動訓練（伝達訓練）に参加した。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく連絡訓練の実施 ・健康に関する正確な情報収集、関係機関との情報共有、市民への迅速な情報提供、関係機関との緊密な連携 ・災害時の医療救護体制の一層の充実

〈鶴ヶ島市〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理対策 2 熱中症対策 3 救急電話相談の普及啓発 4 災害対策
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や食中毒等に関する情報収集を行い、市民に対し、市広報紙やHP、ポスター掲示等を通じて情報提供や注意喚起を行った。 ・定期接種以外の対象者に対する高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を行った。（単） ・感染症対策に関する外部研修会への参加 2 熱中症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・市防災無線、広報車、ソーシャルネットワークサービスを活用した注意喚起及びチラシ、市ホームページ等による情報提供（単） ・公共施設や民間企業のクールオアシスの設置及び周知 3 救急電話相談の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・全国共通ダイヤル#7119、#7000、#8000 について市広報紙、市ホームページ、チラシ配布、ポスター掲示等、広く市民へ周知を行なった。（単） ・市が作成した医療機関マップや情報誌「暮らしの便利帳」の中で、救急電話相談について掲載し、全戸配布したほか、市内医療機関及び公共施設等で配布した。（単） 4 災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練において、坂戸鶴ヶ島医師会、坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校及び市内の医療機関等と連携し、初動期の一次医療対応訓練、災害時応急救護所開設・運営訓練及び災害時医療機関対応訓練を実施した。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 引き続き、市民に対し普及啓発や注意喚起を行う。また、対策訓練（連絡訓練）へ参加するとともに、独自訓練のあり方についても検討する。 2 引き続き、普及啓発に努める。 3 急病時等の適正な受診につながるよう、引き続き、普及啓発に努める。 4 関係部署及び関連機関と連携し、引き続き、災害時における体制整備を図る。

〈毛呂山町〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症対策 2 感染症の拡大防止対策 3 災害時要支援者に対する支援体制の充実 4 飲料水汚染、放射線等による健康被害に係る情報提供
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 熱中症予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報やホームページへの掲載、チラシの配布、ポスター掲示による情報提供。 ・ 広報車（7月～9月、週3回）、防災無線（7月～9月）での注意喚起。 ・ 区長、民生委員への協力依頼。 2-1 法定外予防接種の費用助成 <ul style="list-style-type: none"> ・ おたふくかぜ・B型肝炎・ロタウィルス感染症・インフルエンザ（中学生以下）・高齢者肺炎球菌について 2-2 感染症拡大防止 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国から啓発協力依頼のあった感染症予防のホームページ等による注意喚起 2-3 新型インフルエンザ等対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の実施する対策訓練に参加（連絡訓練） 3 避難行動要支援者に対する支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難行動要支援者の名簿登載者への調査（障害者、要介護者に対し、地域に対する情報提供の同意・不同意について意思確認）を実施。 4 水質検査・水道水中放射性物質測定（水道課）、放射線量測定（生活環境課）の実施・公表
<p>今後の事業展開 ・ 課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 引き続き、熱中症の注意喚起に努める。 2 引き続き、法定外予防接種の費用助成を実施予定。 必要時各種感染症の注意喚起を継続する。 新型インフルエンザ等対策について、町計画を踏まえ、関係機関と連携し、国の対策訓練に参加する。 3 避難行動要支援者に対する支援について、情報収集し、関係機関と体制整備を図る。 4 引き続き、水質、放射線等の情報収集を継続する。

〈越生町〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理に関する情報収集及び広報 2 熱中症対策の実施 3 新型インフルエンザ等の感染予防対策
--------------	---

<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理(単) <ul style="list-style-type: none"> ・感染症や食中毒などの情報収集を行い、広報やホームページ等を活用し、啓発や注意喚起を行い、町民の健康危機への意識付けを行った。(単) ・#7000#8000の普及啓発のため、広報やホームページ、子どもの救急については乳幼児健診の案内通知時などを活用して行った。(単) 2 熱中症予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑日が予想される日の午前10時に防災無線による町内一斉放送。 ・広報やホームページでの注意喚起。 ・各種事業において、啓発のチラシを配布。(単) 3 新型インフルエンザ等対策 <ul style="list-style-type: none"> ・国が実施する新型インフルエンザ緊急対策訓練(伝達訓練)に参加。(単) ・新型インフルエンザ等対策政府行動計画の一部変更に伴い、越生町新型インフルエンザ等対策行動計画の一部変更。(単) ・法定外予防接種費用の一部助成(おたふくかぜ・ロタウイルス1価・ロタウイルス5価・定期接種対象者以外の高齢者肺炎球菌ワクチン・こどものインフルエンザ)(単)
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 引き続き、情報収集及び普及啓発に努める。 2 災害発生、健康危機管理対応について関係機関と連携し、体制の整備を図る。

〈鳩山町〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ等対策 2 熱中症予防対策 3 避難行動要支援者支援制度 4 地域見守り支援ネットワーク 5 #8000、#7000及び#7119(10月～)の普及啓発
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ等対策行動訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・国の実施する新型インフルエンザ緊急対策訓練(伝達訓練)参加及び町総務課と連携し独自の伝達訓練の実施。 2 熱中症予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・猛暑日が予想される日の午前10時30分に防災はとやまによる町内一斉放送、町広報誌への予防啓発記事記載、各種事業において啓発チラシの配布及び説明を実施。(単) ・民生委員に対してリーフレットを配布し、要援護者等への配布や注意喚起を依頼した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て拠点及びニュータウンふくしプラザの職員に対し、リーフレットの積極的な配布や利用者の注意喚起を依頼した。(単) <p>3 避難行動要支援者支援制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度から、災害時等に1人で避難できない方を対象に、安否確認や避難支援を行うために開始。申請を受けて台帳登録し、地域支援者を定めて要援護者個別の支援計画を作成。(単) <p>4 地域見守り支援ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が住み慣れた地域で自立し安心して生活が送れるように、地域で見守る「鳩山町地域見守り支援ネットワーク(見守りはとネット)」を平成22年7月30日に設立、構成団体が個人情報やプライバシーに配慮しながら、声かけや見守りなどを行い、高齢者の孤立防止、認知症の方と家族への支援、高齢者等の虐待防止、消費者被害の防止、災害時における安否確認などの課題に地域全体で取り組んでいる。対象は高齢者、障害者及び子ども。 <p>5 #8000、#7000及び#7119(10月～)の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間等における急な発病への自宅等での対応について、「#」利用を勧め、不必要な救急外来受診を減らし、適正受診を促すよう啓発を図っている。
<p>今後の事業展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題等 	<ul style="list-style-type: none"> ・比企医師会をはじめとする関係機関及び市内関係課と連携し、災害時等において迅速な対応ができるよう体制整備を図る。 ・新型インフルエンザ等対策マニュアル作成及び対策訓練の実施に向けて、関係機関との協議を行う。

〈坂戸鶴ヶ島医師会〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理に係る体制整備 2 災害時要援護者に対する支援体制の充実 3 在宅療養者の支援対策
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 (1) 管内初期救急医療体制を整備、新たに医師会立の休日急患診療所を設立、坂戸市、鶴ヶ島市と連携し円滑な運営に努める。 毎月開催の理事会等で、管内の感染症の流行状況の速やかな情報共有を図り、インフルエンザ等感染拡大防止や、適切な医療提供体制の整備に努めた。 (2) 講演会開催 H29.9.22 「日常診療にみられるショック」 川越救急クリニック 院長 上原 淳 先生 参加人数：20人 2 (1) 災害時対策として薬品備蓄を定期的に更新するほか、関係行政(両市・保健所・薬剤師会)と情報交換し、支援体制の充実を図っている。

	<p>(2) 防災訓練参加 坂戸市 平成 29 年 9 月 3 日(入西小学校) 5 名 鶴ヶ島市(9 都県市合同) 平成 29 年 8 月 27 日(市内各所) 10 名</p> <p>(3) 災害対策委員会にて大規模災害時救護所出動調査実施(H29.11.27) 調査会員数 122 名 回答率 71.9% 災害時における出動可能な救護所の確認し、データを更新。</p> <p>3 埼玉県在宅医療充実支援事業</p> <p>(1) 「在宅医療相談室」の運営を通じ、住民や関係者に対し、療養への不安に寄り添い応えるよう努めている。(「往診医・患者情報の登録」「在宅療養支援ベッド運用」) 登録医 24 名 患者数 98 名(H29.12.末)</p> <p>(2) 地域包括ケアシステム推進の一端として、よりスムーズで有効な情報共有のため、H27 年度より導入済みの ICT による医療介護ネットワークシステム (Medical Care Station さかつる在宅ケアネット) の活用をさらに進めた。 加入事業所数 59 (146 名) H30.1.15 現在</p>
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型インフルエンザ等、新型感染症の集団発生に備え迅速に対応できるよう連携体制の整備、強化。 ○ 防災対策については、関係機関とのさらなる連携により具体的に体制を充実する必要がある。 ○ 「さかつる在宅ケアネット」の活用を広げ、今後は災害時要援護者・在宅療養者の支援、また認知症者への支援の充実が期待できる。各事業管理者に対しては利用ポリシー徹底の継続支援を行う。

〈坂戸鶴ヶ島市薬剤師会〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 休日急患診療所への参加 2 災害対策支援
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 H29. 4～調剤業務開始 事前研修ならびに業務に関し予定通り行った。 2 H29. 9. 3 坂戸市防災訓練参加
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症流行状況により大きく患者様が上下するため、薬剤師の配置状況を検討する必要がある。

〈坂戸保健所〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染症拡大防止対策 2 災害時要援護者に対する支援対策 3 食中毒による健康被害拡大防止対策 4 飲料水汚染による健康被害拡大防止対策
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ等対策の実施 新型インフルエンザ等入院医療機関の整備 平成27年度0か所 平成28年度 医療機関1か所（2床） 平成29年度 医療機関2か所（4床） 2 災害時医療対応のための管内市町との意見交換会の実施 医療救護所等の設置予定等について意見交換を行うとともに、新たな制度導入等について情報共有した。 ・H27.10.2 管内市町（防災・保健・福祉部門）9名 ・H28.11.17 管内市町（同上）9名 ・H29.11.22 管内市町（同上）9名 3 食中毒発生防止対策 営業者及び県民に対し衛生講習会を開催し、食品衛生に関する情報提供に努めた。開催20回 参加者919名（H28実績） 4 井戸水等の衛生指導 井戸水等の水質検査の受付及び指導を実施した。 44検体（H28実績）
<p>事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者に対する支援対策としては、指定難病や小児慢性特定疾病の受給者の情報について市町から提供依頼があれば、患者の意向を踏まえて情報提供を行うこととした。

圏域別取組項目	②生活習慣の改善を含む健康増進対策の推進
目 標	ライフステージに対応した多様な健康増進事業を展開し、特に、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等の課題に関して、住民参加を基本に住民自らが生活習慣の改善に取り組める地域づくりを進めます。さらに、地区組織、ボランティア団体、大学等と協働し、地域全体で健康を支え合うことにより、健康長寿を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康増進に関する知識の普及啓発 ■地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進 ■糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ■ライフステージに対応した健康増進事業を地域で進めるための人材育成

〈坂戸市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域資源と連携した健康づくりの推進 2 健康な心と身体を育む食育の推進 3 特定健康診査・特定保健指導の実施
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域健康づくり事業（単） <ul style="list-style-type: none"> ・市民ボランティア「元気にし隊」と協働により健康づくり活動を実施した。 隊員数 35名（平成29年12月末現在） ・市内百貨店における健康チェックの開催 血管年齢測定、体脂肪測定 参加人数 延べ503人 ・健口体操・リフレッシュ体操 DVD の普及 ・「ハートをつなぐ情報紙」作成 発行回数 2回 ・地域における健康講座の実施 13回 1,104人 2 坂戸市葉酸プロジェクトの推進（単） <ul style="list-style-type: none"> 女子栄養大学と協働で講習会を開催し、神経管閉鎖障害及び脳卒中や認知症のリスクとなる動脈硬化の予防に効果があるとされるビタミンB群の一種である「葉酸」を野菜等から摂取するよう促した。 ・食と健康のプランニングセミナー（葉酸についての講話、遺伝子検査、採血、食事教室、運動教室、個別栄養指導等） 開催回数 17回 参加人数 延べ 511人 ・葉酸普及講演会 参加人数 118人 <p>※葉酸プロジェクトの啓発冊子を作成し配布した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 食を通じた健康づくり応援店制度の推進（単） <ul style="list-style-type: none"> 市民の健康を地域全体で支える環境を整備するとともに市内産業

の振興を図るため、食を通じて市民の健康づくりを応援する店舗の認定を進めている。

- ・認定店舗数（平成29年12月末現在）45店舗
- ・認定メニュー（食品）85品

※前年度との変更点

応援店を広く住民に周知するため、各店舗に取材を行い、平成29年12月号から市報にて店舗の紹介記事を掲載している。

4 体験型食育講座の開催（単）

食を通じた健康づくり応援店の協力により、食育講座を実施した。
開催回数2回 参加者数 27人

5 地域食育活動の支援

坂戸市食生活改善推進員協議会との協働で、地域における食生活改善事業を実施した。

- ・食生活改善推進員 36名
- ・共催による料理教室の開催 1回 参加者数17人

※工夫した点

事前調整としてリハーサル調理を行い、役割分担について検討し、事業のスムーズな実施に努めた。

6 人工透析予防対策事業（単）

人工透析患者の増加を抑制するため、女子栄養大学と連携し、慢性腎臓病予防に取り組むとともに、個別相談を実施した。

- ・慢性腎臓病予防講演会 参加人数 110人
- ・慢性腎臓病予防の食事教室 参加人数 延べ56人
- ・保健師・管理栄養士による個別相談 来所：実施人数 43人 延べ112人 訪問：実施人数 4人 延べ7人

※講演会・教室参加前後のeGFR維持改善率：

H28年度 84.8%

7 特定健康診査・後期高齢者の健康診査を一般社団法人坂戸鶴ヶ島医師会との委託契約により6月～11月に実施。8月末に特定健康診査の未受診者に受診勧奨通知を行った。

また、特定健診における特定保健指導該当者について、結果説明会を開催し（H28年度まで）、特定保健指導修了者に商品券を進呈している。

平成29年度からは、健康センターにおける保健指導（脱メタボ教室）を実施している。

※特定健康診査受診率（法定報告値）：H26年度 38.3%、
H27年度 38.8%、H28年度 38.5%

※特定保健指導実施率（法定報告値）：H26年度 7.5%、
H27年度 9.7%、H28年度 7.0%

今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上を図る。 ・市民や地域関係機関との連携により、より広範な市民への健康づくり活動の普及啓発を図る。
-----------------	--

〈鶴ヶ島市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画の推進 2 健康教育及び健康相談の実施 3 特定健康診査等の実施
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2次鶴ヶ島市健康づくり計画・食育推進計画の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県コバトン健康マイレージを導入し、「今より1日1,000歩多く歩こう」を目指した「地域でスクラム！健康運動事業」の実施（参加者約800人） ・健康づくりを「楽しく・効果的に・声掛け合って」をねらいとした健康遊具の活用や筋力アップのための健康講座等を開催。（開催回数18回 参加人数延358人） ・ウォーキング普及啓発のための講座（2回）やウォーキング講演会（1回）の開催 ・健康づくりを実践・普及する「元気なまちづくりリーダー」を養成する講座を開催。（6日間コース1回開催 21人養成） ・ラジオ体操による健康づくり・地域づくりを推進。 地域や小学校を対象としたラジオ体操教室の開催（3会場、参加人数延298人）朝のラジオ体操実施会場の普及・啓発等（実施会場 25会場） ・ラジオ体操連絡会やウォーキングクラブ等市民ボランティア団体等と連携し、地域で健康づくりを推進 ・血管若返りをキーワードとした講座等の開催（血管若返りチャレンジ講座 2日間コース1回開催、参加人数延39人）健康づくり講演会（1回開催 参加人数300人） ・運動効果を高めるための食生活講座（1回開催 参加人数70人）や、食を通じた元気な地域づくりのための食育連携講座を開催（1回）。 ・青少年健全育成会や地域食育ボランティアと連携した、食育（朝ごはん）講座の開催（1回）。 ・食生活改善推進員協議会と連携し、食事バランスの普及啓発や地元産物を利用した料理教室等を開催 ・食育推進リーダー養成として、食生活改善推進員養成講座を開催 ・鶴ヶ島健康づくり推進協議会を開催し、計画の進捗状況や課題について協議。（2回/年） 2 健康教育及び健康相談の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・「幸せ健康講座」において、栄養・運動・生活習慣予防等の分野の講座を実施（年8回） ※幸せ健康講座受講者数 H26年度293人、H27年度349人、H28年度519人 ・健康相談を実施（随時） <p>3 特定健康診査等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査を、6月～11月の期間で実施。未受診者には受診勧奨通知を送付。 ※特定健康診査受診率 H26年度36.42% H27年度36.63% H28年度36.97% ・特定保健指導を直営方式と委託方式で実施。未利用者には電話や通知で利用を勧奨。 ※特定保健指導利用率 H26年度15.06% H27年度18.14% H28年度13.76% ・後期高齢者健康診査を、6月～11月の期間で実施。 ※後期高齢者健康診査受診率 H26年度32.8% H27年度32.7% H28年度33.0% ・生活保護受給者・中国残留邦人を対象とした健康診査を、6月～11月の期間で実施。 ※生活保護受給者・中国残留邦人を対象とした健康診査受診率 H26年度3.1% H27年度3.5% H28年度3.4%
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・「今より1日1,000歩多く歩こう」を目指したウォーキング事業の拡大・定着。 ・食育やラジオ体操による健康づくり・地域づくりの拡大 ・各種健診の実施率向上、特定保健指導の利用率向上を図る

〈毛呂山町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康増進に関する知識の普及啓発 2 地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進 3 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 4 ライフステージに対応した健康増進事業を地域で進めるための人材育成
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康増進に関する知識の普及啓発：各種健康教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん予防教室 1回39人 ・生活習慣病予防教室 2回33人 ・運動教室 3回62人 2 地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・保健師や栄養士による健康講座（4地区） ・町独自の健康体操の普及：DVDの配布等

	<ul style="list-style-type: none"> ・町健康マイレージ事業による健康支援（H28～参加者 2,000 人） 3 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の実施（受診率 H27 は 46.1%、H28 は 47.6%） 特定保健指導の実施（実施率 H27 は 44.8%、H28 は 40.0%） 生活習慣病重症化予防対策事業の実施（参加人数 11 人） 4 ライフステージに対応した健康増進事業を地域で進めるための人材育成 <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進員協議会事業への補助・協力 食生活改善推進員養成を兼ねた健康教室の実施 ・健康長寿サポーター養成の実施 2回
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 第2次毛呂山町健康増進計画・食育推進計画に沿った事業の実施 2 健康増進に向けた事業を実施：健康マイレージ事業の継続 3 生活習慣病予防、重症化予防事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> ①特定健診受診率の維持、向上 ②特定保健指導実施率の維持、充実 ③生活習慣病予防対策事業の継続 4 食生活改善推進員協議会や、区長、民生委員との連携により、地域での健康推進を進めていく。

〈越生町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくりの事業の実施 2 特定保健指導の実施 3 健康づくり計画の推進
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり事業の実施（H28 年度実績） <ul style="list-style-type: none"> ○ハイキングのまちおごせ健康長寿プロジェクトとして実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎日1万歩運動プラス1000歩運動 参加者 37名 2) 健康長寿講座 <ol style="list-style-type: none"> ①脳とこころのサイエンス in 越生 ～ハイキングが脳を変える！？～ 参加者 159名 ②正しく歩いて健康維持～ウォーキング～ 参加者 41名 ③食事があなたの未来を変える～食生活大丈夫ですか？～ 参加者 32名 ④知ってほしい！歯周病と糖尿病の関係 参加者 93名 ⑤こころの健康～こころを明るく元気に保つ秘訣～ 参加者 54名

	<p>⑥バランスアップ食事運動教室 食事編2回 参加者延27名 運動編2回 参加者延29名</p> <p>3) 越生町健康づくりマイレージ事業の実施(単) 健康づくりに関する自己目標の設定と町が指定した健康づくり 関連事業に参加し、自主的・継続的に楽しみながら健康づくりを 実践していく。</p> <p>H29年3月31日現在 2403名の登録 ポイント達成者 延1622名</p> <p>○健康づくり協力員地区活動 各地区での健康づくりに関する事業の企画・実施。(単)</p> <p>○健康まつりの開催</p> <p>2 特定健康診査・特定保健指導の実施 ・特定健診等健診結果説明会 ・町直営での特定保健指導の実施。</p> <p>3 生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・糖尿病、腎臓病発生予防のため、特定健康診査糖尿病・腎臓病 の検査結果における受診勧奨者に対し、家庭訪問による保健指 導を実施した。(単) ・生活習慣病重症化予防対策事業の実施(町民課)。 生活指導完了者 1名</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 平成28年度から、ハイキングのまちおごせ健康長寿プロジェクトとして、1年を通して生活習慣改善のためのきっかけづくりができるような運動や栄養に関する講座の提供を行っており、継続実施。</p> <p>2 特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上を図る。</p> <p>3 糖尿病受診勧奨、未受診者への訪問指導、生活習慣病重症化予防対策事業の継続。</p>

〈鳩山町〉

<p>関連施策名</p>	<p>1 東京都健康長寿医療センター共同研究事業 2 まめで健康21プラン(第2次健康増進計画・食育推進計画)の推進 3 食育推進事業 4 健康づくりトレーニング事業 5 はとやま毎日1万歩運動事業(健康長寿埼玉モデル普及促進事業) 6 介護予防事業(地域包括支援センター事業) 7 生活習慣病重症化予防対策事業(国保連携事業) 8 国保データヘルス計画の策定(国保連携事業)</p>
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 東京都健康長寿医療センターと町との共同研究事業 ・ふれあい健康祭りにおいてスクワット・チャレンジを実施した。 *実施日:9月30日(土)</p>

- *スクワット・チャレンジ参加者：98人
- 鳩山シニアモニター健診を実施するとともに、シニアモニター通信を年2回発行し、健康づくり及び老化予防に関する情報提供を実施した。

2 まめで健康21プラン(第2次健康増進計画・食育推進計画)の推進

- 特定保健指導は、動機付け支援を全て直営実施し、積極的支援については、東松山医師会病院に委託した。
- *対象者：146人
- *保健指導実施者：53人(見込実施率約35.6%)
- はとやま健康向上委員会 *会議開催：年4回
- 健(検)診による健康管理の推進を健康課題の一つとして掲げ、定期的な受診の重要性について普及啓発するとともに、生活習慣病予防につなげるべく、町民、関係機関・団体、行政が各々の立場で又は連携し取り組んだ。

*保健センターと国保担当で健(検)診受診勧奨ポロシャツ・ネックストラップを着用し、受診の重要性について啓発を行った。

- はつらつ教室(地域包括支援センター事業)を開催した。(単)
- *回数：10月及び3月に3日間を2クール実施
- *対象：概ね60歳以上
- *内容：メタボ予防と口コモ予防に関する栄養講座、運動教室
- *募集人数：前期・後期ともに30人
- 食生活改善推進員協議会の人材育成を支援(食生活改善推進員養成講座の実施)するとともに、連携し事業を実施した。(単)
- *養成講座参加者数：新規(一般)0人 継続2人 食改会員7人

3 鳩山町食コミュニティ会議の開催(単)

- 食を通じたコミュニティの創造を目的として、女子栄養大学、東京都健康長寿医療センター研究所、町民、行政による協働事業。毎月の会議のほか、地区別に食事会及び懇談会を企画し、小地域における人と人のつながりを深めている。

*平成29年11月20日現在 食コミリーダー人数：25人

- 孤食の機会がある(可能性がある)町民を対象とした「食コミ ミニ料理教室」を保健センターにて開催。

実施日：9月25日(月) 参加者数：33人

- 子育て世代を対象とした「食コミ 料理教室&交流会『簡単手づくりおやつ』をつくろう!」を開催。

実施日：2月9日(金) 参加数：20組

4 健康づくりトレーニング事業

- 大東文化大学連携事業「AAAトレーニング教室(第10期)」を実施した。40歳以上を対象とした油圧式マシンによるスーパーサーキットトレーニングを3ヶ月間実施、その後は自主活動グループとして運動を継続していく体制を整備している。また、県の健

	<p>康長寿サポーター養成の場としている。(単) *参加人数：18人</p> <p>5 はとやま毎日1万歩運動事業(健康長寿埼玉モデル普及促進事業) ・毎日継続して行うウォーキングと、筋力トレーニングの相乗効果で、より効果的に生活習慣病やメタボリックシンドロームの改善につなげ、健康寿命の延伸につなげるとともに、国保医療費等抑制効果を高めることを目的として、平成27年度から3年間の継続事業として実施。今年度は最終年である3年目にあたる。 *新規参加人数：111人(参加者総数246人) *平成30年度からは、県のマイレージ事業への参加を予定している。</p> <p>6 介護一次予防事業の実施(地域包括支援センター事業) ・地域健康教室の開催。(単) 町内4会場で定期的な運動、交流の場として開催しており、対象は高齢者、運営は町民ボランティア組織である鳩山町健康づくりサポーターの会が担っている。今年度の延べ参加者数は約8,200人の見込み。</p> <p>7 生活習慣病重症化予防対策事業(国保連携事業) ・県の国保補助事業。特定健診結果及びレセプトデータから選定されたハイリスク者に対し、6ヶ月間の生活指導を行い、透析にならないための習慣付けを行うもの。開始前後で血液検査数値による効果検証を行う。ハイリスク者4人に対し生活指導を実施した。</p> <p>8 国保データヘルス計画の策定 ・計画を策定するにあたり、金沢大学(共同研究協定締結済)に医療費等地域データ分析を依頼、その結果から、今後町に必要な事業等について計画の中に盛り込んだ。</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に効果的な実施方法を引き続き検討していく。 ・健康づくりサポーターの育成及び人員確保。 ・若年層が参加しやすい事業の企画。 ・データヘルス計画に基づく、ターゲットを絞った事業の実施。 ・マイレージ事業における町独自のポイント制度の整備。

〈坂戸鶴ヶ島医師会〉

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診、特定保健指導受託実施。 2 関連学術講演会、研修 3 坂戸市鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会参加
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<p>1 坂戸市・鶴ヶ島市及び社会保険組合等からの委託により特定健診、特定保健指導を個別医療機関にて実施。生活習慣病の予防啓発に努</p>

	<p>める。糖尿病等重症化予防対策への協力</p> <p>2 健康教育等への講師派遣 脳卒中、骨粗しょう症、糖尿病性腎症予防関連等</p> <p>3 禁煙治療実施医療機関をホームページに掲載。禁煙治療広報。</p> <p>4 最新の医療情報の提供、研鑽の機会を設ける。 H30.1.19 予定 「ピロリ診療に関する最新の話題」 国立国際医療研究センター 国府台病院 病院長上村 直実 先生 その他 研修会多数</p> <p>5 坂戸市鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会を通じて、地域へ出前講座の講師派遣し、健康長寿、地域づくりを進めている。</p> <p>(1) 出前講座 H29.6.12 耳鼻科から見た匂い聞こえと認知症 40名 H29.10.22 認知症について 31名 H29.11.13 訪問診療と往診について 20名</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>○ 外来診療等で特定健診受診率UPのため、啓発を図る。</p> <p>○ 地域の健康増進にかかる社会資源の情報を共有し連携に努める。</p>

〈坂戸鶴ヶ島市薬剤師会〉

関連施策名	健康情報拠点の推進
これまでの主な取組状況・成果	<p>平成29年10月17日～23日の薬と健康の週間において会員薬局店頭でのリーフレットをもちいた医薬品の適正使用の啓発活動を行った</p> <p>また、患者さんへのアドバイスを適正に行えるよう2か月に1回講習会を行った。</p>
今後の事業展開 ・課題等	薬剤師のスキルアップのための講習会のレベルアップを委員会中心に行う。

〈坂戸保健所〉

関連施策名	<p>1 地域・職域連携推進事業</p> <p>2 食を通じた社会環境の整備促進</p> <p>3 受動喫煙防止対策</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 地域・職域連携推進事業</p> <p>地域の健康課題を分析し健康増進事業を展開する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所管内健康課題対策会議 平成29年1月9日実施 参加者11名 ・特定健康診査・特定保健指導の実施

	<p>特定健康診査受診率</p> <p>平成24年度 36.8% 平成25年度 38.0%</p> <p>平成26年度 39.3% 平成27年度 39.7%</p> <p>平成28年度 40.2% (未確定値)</p> <p>保健指導修了者率</p> <p>平成24年度 17.8% 平成25年度 18.7%</p> <p>平成26年度 17.0% 平成27年度 21.8%</p> <p>平成28年度 19.0% (未確定値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導実務者等へのスキルアップ講座の開催 <p>第1回 平成29年8月23日 実施 参加者5名</p> <p>第2回 平成30年1月 9日 実施 参加者11名</p> <p>2 食を通じた社会環境の整備促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県健康づくり協力店の指定 <p>平成25年度 61店舗 平成26年度 63店舗</p> <p>平成27年度 67店舗 平成28年度 70店舗</p> <p>平成29年度 63店舗 (見込み)</p> <p>3 受動喫煙防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面禁煙・空間分煙施設の認証の推進 <p>平成25年度 220施設 平成26年度 255施設</p> <p>平成27年度 259施設 平成28年度 272施設</p> <p>平成29年度 274施設 (見込み)</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>特定健診・特定保健指導をはじめとした健康づくり事業の具体的な取組については、地域の状況によって様々である。住民が主体的に生活習慣の改善に取り組める地域づくりが重要である。そのために、管内担当者との連携をより密にし、地域の健康課題に対して継続して支援を行っていくことが必要である。</p> <p>また、飲食店や事業所等とも連携し、地域全体で健康を支え合う体制づくりを図りたい。</p>

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	③精神保健福祉医療対策
目 標	必要な人が速やかに保健・福祉・医療の支援を受け、円滑な地域生活が送れるように、関係機関の連携を強化します。また、精神保健に関する知識の普及啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■心の健康に関する専門医療機関と一般医療機関や保健・福祉に係る関係機関等との連携強化 ■自殺予防対策の推進 ■メンタルヘルスに関する知識の普及啓発 ■薬物乱用防止の普及啓発及び薬物問題に悩む本人・家族への相談体制の整備

〈坂戸市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健事業の実施 2 自殺予防対策の推進 3 メンタルヘルスに関する知識の普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健事業の実施（単） <ul style="list-style-type: none"> ・こころの専門相談（精神科医による精神保健相談） 年6回実施 実施人数 12人 ・保健師による相談 来所：実施人数 35人 延べ71人 訪問： 実施人数 11人 延べ25人 ・ソーシャルクラブ（精神障害者の社会復帰支援事業） 年44回実施 参加人数 延べ224人 ・家族のつどい 年12回実施 参加人数 延べ101人 2 自殺予防対策の推進（単） <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度の自殺対策推進計画策定に向けて、H29年度自殺対策 庁内推進委員会設置、自殺対策計画審議会の条例制定 H30. 1月現在、第1回庁内推進委員会、第1回担当者会議実施 ・携帯電話やパソコンからアクセスする「うつ病初期スクリーニングシステム「こころの体温計」 総アクセス数 H27年度 38,749件（H27. 7月導入） H28年度 25,778件 3 メンタルヘルスに関する知識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス講演会「睡眠と健康」（坂戸保健所管内2市3町） 1回実施 参加人数20人（坂戸市民）

今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月にメンタルヘルス講演会を坂戸保健所主催で実施予定 自殺予防およびメンタルヘルスに関する知識を普及啓発する。
-----------------	---

〈鶴ヶ島市〉

関連施策名	1 精神保健推進事業の実施 2 自殺予防対策の推進
これまでの主な 取組状況・成果	1 精神保健推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談（精神科医による精神保健相談）（単） H26年度 11回実施 延べ26人 H27年度 9回実施 延べ28人 H28年度 11回実施 延べ30人 ソーシャルクラブ（精神障害者の社会復帰支援事業）実施（単） H26年度 33回実施 延べ255人 H27年度 33回実施 延べ304人 H28年度 33回実施 延べ260人 精神保健福祉士、保健師等による精神保健相談を実施 2 自殺予防対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> 職員向けゲートキーパー研修 11月2日 受講者 19人 市民向けゲートキーパー講演会 2月10日実施予定 自殺予防普及啓発用ファイルを購入し、講演会や事故防止キャンペーンにおいて配布 500部 9月の自殺予防週間にあわせて、自殺予防に関する情報を市広報掲載や市役所ロビーにコーナーを設置し、市民への啓発を図った。 東武鉄道との協同による事故防止キャンペーン（5月、12月）において、自殺予防普及啓発用ファイル等を配布し、啓発を図った。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健推進事業を継続実施予定 自殺対策計画策定にむけて、準備をすすめる。

〈毛呂山町〉

関連施策名	1 精神保健事業の実施 2 自殺予防対策の推進 3 薬物乱用防止の普及啓発
これまでの主な 取組状況・成果	1 精神保健事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> こころの健康相談（臨床心理士による相談） 年4回実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による精神保健相談を実施。電話・来所・訪問等により、随時対応。 困難ケースは、保健所・福祉事務所・町福祉課等の関係機関とともに、情報共有や家庭訪問を実施して対応。 ・ソーシャルクラブ（精神障害者の社会復帰支援事業）年18回実施。 2 自殺予防対策の推進 ・こころの健康フェスティバル H28「睡眠と健康」（坂戸保健所、管内2市3町）1回実施 参加人数114人 3 薬物乱用防止の一環として、県からの啓発資材の活用及び指導員による啓発活動。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士・保健師による精神保健相談を継続実施予定。 ・平成30年2月にこころの健康講座講を坂戸保健所主催で実施予定。 ・H30年度自殺対策計画策定業務（推進委員会設置、実態調査事業等）

〈越生町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 自殺防止対策の推進 2 薬物乱用防止の普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害者社会復帰相談指導事業としてソーシャルクラブ活動を実施した。（単） 年24回実施 参加人数 延べ96名 2 精神障害者に対しての訪問指導、相談等を実施した。（単） 相談：延32名 訪問：延47名 3 健康長寿講座の実施 こころの健康～こころを明るく元気に保つ秘訣～ 参加者 54名 4 薬物乱用防止に関して、健康まつりや広報等で普及啓発した。（単）
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健師によるこころの相談・指導の継続。 2 健康まつり等での薬物乱用防止に関する普及啓発。 3 平成30年度に自殺対策推進計画の策定予定。

〈鳩山町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 こころの健康づくり事業 2 自殺予防対策の推進 3 薬物乱用防止の普及啓発
-------	---

<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 こころの健康づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> • こころの健康相談（年4回） 臨床心理士、保健師、精神保健福祉士による、こころの健康に関する相談体制の充実を図った。要予約。 ※埼玉県自殺対策強化事業補助金活用事業 • ほっとクラブ（ソーシャルクラブ）（年23回） 障害者（精神、知的、身体）の社会復帰支援事業として実施。 • 精神保健福祉コミュニティサロン（年23回） 精神障害者やその家族の居場所づくりを目的として実施。 • 精神保健福祉コミュニティサロン事業講習会 精神保健福祉サロンの傾聴ボランティアの活動促進を図った。 実施回数：年3回 参加者数：延人数44名 <p>2 自殺予防対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> • じさつ予防週間（9月10日～16日）に合わせ、9月の1か月間町図書館に自殺対策関連書籍等を集めた特設コーナーを設置、町民への普及啓発を図った。（単） • 鳩山町自殺対策計画策定委員会の設置し、2回の会議を開催。計画策定に向けたアンケート調査を実施した。 <p>3 薬物乱用防止について普及啓発を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> • 薬物の知識を深めてもらうため、町広報及びHPに関連記事掲載。 • 薬物乱用防止活動募金の実施（7月）。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 町自殺対策計画の策定に向けた策定委員会の運営。 • 県自殺対策強化事業費補助金を活用した効果的な事業の展開。 • こころの健康相談を広く周知し、利用者を増やすことで、困難ケースに進行する前の時点での早めの介入を目指す。

〈坂戸鶴ヶ島医師会〉

<p>関連施策名</p>	<p>1 かかりつけ医、産業医へうつ、メンタルヘルス患者対応研修 2 薬物乱用防止委員会 協力</p>
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 研修会開催</p> <p>(1) 学術講演会 H29.4.27 「認知症と不眠」 埼玉医科大学神経内科 教授 荒木信夫氏 参加者30名</p> <p>H29.5.19 「多様化するうつ病/睡眠障害のとらえかた～精神科領域における最近の動向～」 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科 講師 松岡孝裕氏 参加18名</p>

	<p>(2) 産業医基礎研修会開催 うつ・ストレス・過重労働等を含む法改正に関する研修会開催予定 H30.3.2 労働安全衛生関連法の改正について</p> <p>2 関係専門機関の紹介 精神科救急情報センター、埼玉県メンタルヘルスセンター、メンタルクリニック等</p> <p>3 薬物乱用防止指導員 (1名)</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>○ 30年度は坂戸市自殺対策審議会へ医師を推薦予定。</p> <p>○ 今後も、ほぼ同一内容で事業継続予定。</p> <p>○ 関係機関とさらに連携して取り組む。</p>

〈坂戸鶴ヶ島市薬剤師会〉

関連施策名	健康情報拠点の推進
これまでの主な取組状況・成果	<p>平成29年10月17日～23日の薬と健康の週間において会員薬局店頭でのリーフレットをもちいた医薬品の適正使用の啓発活動を行った</p> <p>また、患者さんへのアドバイスを適正に行えるよう2か月に1回講習会を行った。</p>
今後の事業展開 ・課題等	薬剤師のスキルアップのための講習会のレベルアップを委員会中心に行う。

〈坂戸保健所〉

関連施策名	<p>1 関係機関との連携強化</p> <p>2 自殺予防対策</p> <p>3 精神的な問題に関する本人・家族への支援、及び正しい知識の普及</p> <p>4 薬物乱用防止普及啓発</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 関係機関との連携を強化することにより、精神障害者が社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をすることができるように努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉連絡会(1回)・・・情報共有、連絡調整が目的 管内市町、基幹相談支援センター、精神保健福祉センター、総合リハビリテーションセンター ・地域移行事業に従事する支援者研修会(2回) 相談支援事業所職員等を対象とした「関係機関の連携」研修で、参加者の精神障害者の地域移行支援のスキルアップを図った。 <p>また、今後の支援体制整備に向け、管内の市町や精神科病院、相談支援事業所等と検討会を実施した。</p> <p>(根拠法令 精神保健福祉法第2条)</p>

	<p>2 メンタルヘルス講演会を開催し、平成 28 年度は 114 名参加。平成 29 年度は約 70 名が参加。メンタルヘルスの正しい知識の普及に努めた。</p> <p>(根拠法令 自殺総合対策大綱)</p> <p>3 措置入院の患者は年々増加している。</p> <p>精神保健福祉法第 23 条(警察官通報)の件数は、平成 26 年度 103 件、平成 27 年度 116 件である。</p> <p>措置入院を繰り返さないため面接・訪問のみならず、所内、及び川越市保健所と合同で適宜、事例検討会を実施している。</p> <p>また、メンタルヘルス講演会として講演「家族のための統合失調症入門」を開催。100 名の参加者があり、正しい知識の普及に努めた。</p> <p>(根拠法令 精神保健福祉法第 46、47 条)</p> <p>4 薬物乱用防止講習会への講師派遣 9回 (単)</p> <p>薬物乱用防止キャンペーンの実施(坂戸市非行防止キャンペーン合同)</p> <p>広報紙による啓発 発行部数：244,080部</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住民を対象に、自殺予防に関する啓発普及をさらに広く実施していく必要がある。 ・措置入院を繰り返す方や処遇が難しい方の中には、本人のみならず、家族の困窮や高齢化等様々な要因を抱えている。事例に応じた継続的な支援を実施するため、保健所だけではなく関係機関との連携が必要である。支援者間における顔の見える体制の整備を進めていく。 ・薬物乱用は、個人の問題に留まらず大きな社会問題となっていく。引き続き、関係機関と協力し、草の根運動を展開し、薬物乱用防止啓発を推進していく必要がある。

圏域別取組項目	④親と子の保健対策
目 標	<p>子どもたちが健やかに成長できるように、妊娠・出産期からの相談体制の整備をさらに進めます。また、育児に対する不安や負担感を持っている家庭への支援のための地域ネットワークづくりに努めます。</p> <p>親と子のライフステージ全体を視野に入れた支援ができるように、関係機関の連携を強化します。</p> <p>また、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を構築していきます。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の子育て支援体制の充実 ■ 健康上の課題のある子どもと家庭への支援体制の充実 ■ 育児の要支援家庭や児童虐待の心配のある家庭への支援体制の充実 ■ 心の健康問題に関する相談体制の充実と関係機関の連携強化 ■ 人材育成を推進するための研修体制及びネットワークの整備 ■ 子育て世代包括支援センター（母子保健型・基本型）事業の展開

〈坂戸市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子の健康の保持・増進 <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な妊娠、出産の確保 2 母子保健対策の充実 (坂戸市子ども・子育て支援事業計画)
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊婦、乳幼児、親子等を対象に様々な事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時にアンケートを実施し、ハイリスク妊婦に支援を実施（単） ・妊婦健康診査 ・パパママ教室：妊婦とその家族を対象として3日間コース（年3回）と半日コース（年3回）を実施（単） ・乳幼児健康診査：3か月児・10か月児・1歳6か月児・2歳児歯科健診・3歳児健診（単） ※乳幼児健診受診率 H26年度 91.4% H27年度 91.1% H28年度 92.8% ・家庭訪問：乳児家庭全戸訪問事業、未熟児訪問指導、周産期虐待予防強化事業、乳幼児健診未受診者訪問（単） ・乳幼児健康相談（保健・栄養・歯科・母乳相談）を市民健康センター及び入西地域交流センターにおいて、年9回実施（単） ・のびのび親子教室：発達や育児等で経過観察の必要な方を対象とした教室を月2回実施（単）

	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく発達相談：発達面で経過観察の必要な方を対象に月1回実施（単） ・にこにこ親子相談（M-CHAT相談）：1歳6か月児健診の事後フォローの相談として月1回実施（単） <p>2 要保護児童対策地域協議会代表者会議（1回）、要保護児童対策地域協議会実務者会議（4回）、要保護児童対策地域協議会研修会（1回）を実施するとともに必要時ケース会議を開催し、啓発や関係機関との連携強化を図っている。（主管課子育て支援課）（単）</p> <p>3 県主催の研修をはじめとする様々な研修に積極的に参加し、保健師の知識等の向上に努めている。</p>
今後の事業展開 ・課題等	育児支援、虐待予防対策の観点から、情報の共有化など関係機関との連携を強化していく。

〈鶴ヶ島市〉

関連施策名	<p>1 妊娠から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援</p> <p>2 子育て支援と連携した母子保健対策の充実 （鶴ヶ島市子ども・子育て支援事業計画）</p>																								
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 鶴ヶ島市子育て世代包括支援センター母子保健型の実施 （H29. 4月～） 妊娠届出時に助産師及び保健師が全ての妊婦と面接し、アンケート調査を実施し状況を把握。妊娠中、妊娠初期と後期に電話し状況把握に努めている。全妊婦の支援台帳を作成し必要に応じて個別プランを作成し継続支援を行っている。毎月こども支援課とネウボラ連携会議を実施。</p> <p>2 鶴ヶ島版ネウボラサポートメニュー（H29開始事業） 不妊治療費の助成、不妊検査費の助成、母乳相談会、産後ケア事業（宿泊・日帰り）</p> <p>3 母子保健事業の実施</p> <p>①妊婦健康診査の費用助成</p> <p>②ゆりかご教室：妊婦とその家族を対象とした2日間コースで教室を実施。ゆりかご教室参加者数（延べ） H26年度 325人 H27年度 216人 H28年度 164人</p> <p>③乳幼児健康診査等：4か月児、1歳6か月児、3歳児にて健康診査、2歳児に歯科健康診査、10か月児健康相談を実施。</p> <p>乳幼児健康診査等受診率（％）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4か月</th> <th>10か月</th> <th>1歳6か月</th> <th>2歳(歯)</th> <th>3歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>96.9</td> <td>95.6</td> <td>97.2</td> <td></td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>97.4</td> <td>95.5</td> <td>96.9</td> <td>72.4</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>96.7</td> <td>96.1</td> <td>95.2</td> <td>81.6</td> <td>94.7</td> </tr> </tbody> </table>		4か月	10か月	1歳6か月	2歳(歯)	3歳	H26	96.9	95.6	97.2		94.6	H27	97.4	95.5	96.9	72.4	93.8	H28	96.7	96.1	95.2	81.6	94.7
	4か月	10か月	1歳6か月	2歳(歯)	3歳																				
H26	96.9	95.6	97.2		94.6																				
H27	97.4	95.5	96.9	72.4	93.8																				
H28	96.7	96.1	95.2	81.6	94.7																				

	<p>※2歳児歯科健診はH27年度から定期化して実施。 ※乳幼児健診未受診者（連絡ない場合）訪問実施。</p> <p>④乳児家庭全戸訪問事業実施 ⑤家庭訪問：未熟児訪問指導、妊娠期からの虐待予防強化事業等必要時保健師が訪問し、継続支援を実施。 ⑥親子相談：親の育児不安や子どもの発育・発達に関する相談について医師、保健師、心理士、言語聴覚士、家庭児童相談員が対応。 H26年度132件、H27年度132件、H28年度137件 ⑦乳幼児すこやか相談：身体計測、保健相談、母乳相談、栄養相談、歯科相談を年6回実施 H26年度343件、H27年度343件、H28年度338件 ⑧双子ちゃんママ&パパの集い（自主グループ）のサポート：多胎児の親子、妊婦を対象にした集い（毎月）のサポート実施。 ⑨公立保育所・児童館（赤ちゃんサロン）において乳児相談を実施。 ⑩発育支援センター親子教室への参加と連携（月2回保健師参加） ⑪児童虐待防止：要保護児童対策協議会代表会議、要保護児童対策協議会実務者会議に参加し、関係機関と連携。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 子育て世代包括支援センター事業を継続実施し、全妊婦に対するポピュレーションアプローチを展開していく。 2 児童虐待の早期発見、未然防止のため、さらなる関係機関との連携強化を図る。</p>

〈毛呂山町〉

関連施策名	<p>1 母子保健事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産に関する安全性の確保と相談、支援体制の充実 ・子どもの健全な発育発達促進 ・要支援家庭への相談支援
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 母子保健事業</p> <p>H29年9月から、保健センターと子育て支援センターが連携を図り、妊娠・出産・子育ての総合相談窓口「子育て世代包括支援センター」を開設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時、全妊婦に対してアンケート実施と面接相談。 ・支援プラン作成 ・妊婦健康診査 ・マタニティママコール（妊娠後期）で、妊娠・出産・育児に関する相談や情報提供を行う。 ・初めてのパパママ教室。仲間作りを目的とし、父親の参加も促した。2日間コース（年2回実施） ・家庭訪問：乳幼児家庭全戸訪問を助産師または保健師が実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊娠・出産、未熟児に対しては、訪問等で継続的な支援を実施。必要時、児童福祉担当や関係機関等と連携。 ・育児・離乳食相談による相談支援 年4回実施。 ・乳幼児健康診査：4か月児・10か月児・1歳6か月児・2歳児歯科健診・3歳児健康診査 ・親子料理教室：管理栄養士、食生活改善推進員による調理実習。年1回実施。 ・どんぐり教室：発達面や育児不安等で経過観察が必要な親子を対象とした教室で、作業療法士・臨床心理士・保育士・保健師等で支援。年18回実施。 ・発育発達相談：発育発達に関する個別相談事業で、医師や臨床心理士、言語聴覚士による相談を実施。年7回実施。 ・幼稚園・保育園等の巡回相談に参加し情報把握。 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議（1回）、及び実務者会議（4回）に参加し、必要に応じて関係課・関係機関とケース会議を実施し、連携を図っている。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実を図る。 ・発達に課題がある児に対する早期発見と相談支援体制の充実。 ・母子支援における関係機関との連携体制の充実を図る。

〈越生町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子保健事業の普及啓発 2 健康診査体制の充実
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年4月から保健センター内に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めている。 1) ウェルカム赤ちゃん事業として、特定不妊治療費・男性不妊治療費の助成、平成29年度からは早期不妊検査費の助成も実施。 2) 妊娠届出時に、全妊婦に対してアンケートを行い、保健師が面接相談を実施している。（単） 3) 妊婦健康診査（単） 4) ママパパ教室で、妊娠・出産・育児に関する正しい知識と情報の提供を支援している。年4回。（単） 5) 妊婦タクシー利用料金助成事業として、妊婦の通院や外出の際利用したタクシー利用料金の助成を実施している（1回につき初乗り運賃相当額で、28枚）。（単） 6) 新生児訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業を同時実施）・妊産婦訪問指導事業を保健師が実施した。出生児は全数訪問し、全産婦に対しては産後うつに関するアンケートを行っている。 7) 新生児聴覚検査費用助成事業（平成29年度新規）として、初回検査費用の一部助成（上限5,000円）を実施している。（単）

	<p>8) 産後健診推進事業の実施</p> <p>9) 相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内育児相談(年20回) (単) ・地域子育て支援センターでの育児相談(年12回)事業の実施。(単) ・保育園・幼稚園等の連携を図るため、発達障害巡回相談に合わせて、母子保健関係者連絡会を実施している。(単) ・こどもの発育相談の実施。年4回。(単) ・乳児・1歳6か月児・3歳児健診の実施。(単) ・食育の推進のためにこにこ幼児食教室を実施した。2回(単) ・2歳児歯科教室の実施。2回。(単) <p>2 要保護児童対策協議会代表者会議、実務者会議、ケース会議に参加し、連携強化を図っている。(単)</p>
<p>今後の事業展開</p> <p>・課題等</p>	<p>1 子育て世代包括支援センターの充実 子育て支援課と連携を取り、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を構築していく。</p> <p>2 発達の課題がある乳幼児に対する支援体制の充実</p> <p>3 育児支援・虐待予防対策の観点から、情報の共有化など関係機関との連携を強化していく。</p>

〈鳩山町〉

<p>関連施策名</p>	<p>1 妊娠、出産の安全性確保と相談、支援体制の充実</p> <p>2 子どもの健全な発育・発達の促進と育児不安への対応強化</p> <p>3 地域見守り支援ネットワーク</p>
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 妊娠、出産の安全性確保と相談、支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター及びプレイルームの設置 11月1日開所式を実施。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のため、母子保健コーディネーター(助産師)を配置。また、母子支援事業としてベビーマッサージ教室2回、ベビーヨガ教室2回及びベビーサイン教室を1回実施した。 プレイルームは、平日の午前9時から正午まで開放している。 ・妊娠届出時に保健師が面接相談を実施(単) 届出者に対して個別面接を行うことにより、虐待のリスクの把握や体調等に不安がある、産後うつ等の可能性があるハイリスク妊婦の早期把握・対応に努めている。 ・「こんにちは赤ちゃん訪問事業」 家庭訪問：新生児訪問(全数対象)を「こんにちは赤ちゃん事業」に位置付け、保健師、管理栄養士または助産師による全戸訪問事業を実施した。見込実施率100%(H29) ・未熟児訪問指導、周産期虐待予防強化事業、養育支援訪問事業、乳幼児健診未受診者訪問を実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ママパパ教室 年7回開催（単） 2 子どもの健全な発育・発達の促進と育児不安への対応強化 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児に関する相談事業の充実（単） 乳幼児健診において、虐待防止の観点を重視した問診票、要経過観察児情報の従事者への事前配布、1歳6か月児健診・3歳児健診への臨床心理士複数配置（全員面接）、管理栄養士の栄養相談健診後カンファレンス実施による相談支援の充実を図っている。 ・M-CHAT 継続（単） 平成24年度より1歳6か月児健診にM-CHATを導入し、自閉症スペクトラム障害がある児、発達に課題がある児の早期発見と早期介入・支援を実施した。 ・保育園、幼稚園、児童福祉担当等との連携強化（単） 要保護児童対策地域協議会会議へ参加した。 母子保健連絡会 6回 保育園・幼稚園対象の発達障害に係る巡回支援参加と連携 1回（その他必要に応じ随時、関係機関との連絡調整実施） ひばり子育て支援センター事業への協力 ・県主催研修会、その他研修会への参加 ・乳幼児健康相談（単） 12回 ・親子教室（単） 12回 ・すくすく相談【子どもの発育発達相談】（単）3回 ・2歳児歯科健診（単）年2回 れもんの会の協力のもと、待ち時間に食育等の普及を図る。 ・とまらない子育て練習法講座（全7回） 3. 食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・親子の食育教室（食改連携事業） 年1回 ・離乳食教室 年42回 ・鳩山町食生活改善推進員による町立幼稚園食育出前講座 年2回 4. 地域見守り支援ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが住み慣れた地域で安全な生活が送れるように、地域で見守る「鳩山町地域見守り支援ネットワーク(見守りはとネット)」を平成22年7月30日に設立、構成団体が個人情報やプライバシーに配慮しながら、声かけや見守りなどを行い、子どもへの虐待早期発見、家族への支援など地域全体で取り組んでいる。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養育支援を特に必要とする家庭の支援のために関係部門、関係機関との連携を強化していく。 ・子育て世代包括支援センターの整備。 ・発達障害児、自閉症スペクトラム障害がある児、発達に課題がある児の早期発見と早期介入・支援をしていくことによって育児支援の充実を図る。

〈坂戸鶴ヶ島医師会〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児健診 2 要保護対策地域協議会参加 3 坂戸市・鶴ヶ島市の病児保育体制構築への協力 4 学校等教育現場との連携
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 坂戸市・鶴ヶ島市が開催する各種乳幼児健診受託。医師を派遣。 2 管内行政より虐待による事故やいじめによる自殺が推察される管案件審議会等へ要請に応じ医師派遣。 3 両市の要請に応じ、病児保育を行う機関を推薦。 4 教育委員会等を通じ、教育や保育の現場と学校医や園医の情報共有を密にする。(学校現場での事故等の報告を速やかに共有する。)
今後の事業展開 ・課題等	<p>今後も、ほぼ同一内容で事業継続予定。 関係機関とさらに連携して取り組む。</p>

〈坂戸鶴ヶ島市薬剤師会〉

関連施策名	学校薬剤師活動における保健衛生への寄与
これまでの主な取組状況・成果	<p>学校の水道水、プール水の水質検査の実施 学校保健委員会への参加による感染症対策の指導</p>
今後の事業展開 ・課題等	継続して活動を行う。

〈坂戸保健所〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの心の健康相談 2 小児慢性特定疾病対策 3 ふれあい親子支援事業
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神的な問題があると思われる児童、またはその児童に関わる関係者に、小児科医、臨床心理士等が診察、心理検査等を実施する。 それにより発達障害等の早期発見、早期治療を図る。 (クリニック実人員) 平成26年度 21件、平成27年度 23件、平成28年度 28件 (根拠法令 母子保健法第8条) 2 小児慢性特定疾病にかかっている児童について、健全育成の観点から、その医療費の自己負担の一部を助成する。申請の際に家族と面接を行い、保健師等の支援が必要と思われる場合は、フォローを行う。

	<p>(年度未受給者数) 平成 26 年度 189 件、平成 27 年度 240 件、平成 28 年度 239 件 (根拠法令 児童福祉法第 19 条)</p> <p>3 育児への不安を抱える家族や、虐待のリスクのある家族に対して、臨床心理士、保健師等からなるチームでグループミーティングを行うことで、適切な養育への動機づけ、心理的安定を図ることができる。それにより家族関係の修復をはかり、虐待予防の一助とする。 (根拠法令 母子保健法第 8 条)</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>子どもの心の健康相談については利用希望者が多く、予約が半年先になることがある。療育を受けられる機関が少なく、紹介先が限定される。保健所が担う役割を関係機関と確認をしながら、事業を継続していく。</p>

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	⑤歯科口腔保健対策
目 標	8020 運動の目標達成を目指し、う蝕（むし歯）と歯周疾患の予防のため、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた効果的な歯科口腔保健を推進します。また、在宅で療養する患者や老人福祉施設等の入所者が質の高い生活を送れるように歯科診療の提供及び口腔ケアの普及に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科保健に関する知識の普及啓発 ■ 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 ■ 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発 ■ 口腔ケアの普及啓発

〈坂戸市〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊婦・乳幼児期の歯科保健の推進 2 成人の歯科保健の推進
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊婦・乳幼児期の歯科保健の推進（単） <ul style="list-style-type: none"> ・ パパママ教室で歯科健診・歯科保健指導を実施（年3回） ・ 10か月児健診（年24回）に歯科保健指導を実施 ・ 2歳児歯科健診（年24回）を実施 ・ 乳幼児健康相談（年9回）に歯科保健指導を実施 ・ 保育園（13園）で歯科保健指導を実施 2 成人の歯科保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人歯科健康診査（個別）を実施（単） <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人歯科健康診査対象者受診率 H26年度 受診率 5.6% H27年度 受診率 5.3% H28年度 受診率 4.8% ・ 歯科健康教育 歯科医師による講話 1回 29人 歯科衛生士による教育 3回 97人 ・ 健康相談を随時実施（単）
今後の事業展開 ・ 課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各ライフステージに応じた歯科保健サービスの提供を行うために関係機関との連携を強化していく。 ・ 歯科保健に関する知識を普及啓発する。

〈鶴ヶ島市〉

<p>関連施策名</p>	<p>1 妊婦・乳幼児期の歯科保健の推進 2 学童期以降の歯科保健の推進 3 成人期の健康の保持増進と歯の喪失の予防 4 介護予防、健康づくり等、市民の健康意識向上推進</p>																																				
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 妊婦・乳幼児期の歯科保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆりかご教室（年4回）で歯科保健指導を実施（単） ・4カ月児健康診査（年12回）での歯科保健指導を実施 ・10ヶ月児健康相談（年12回）での歯科保健指導を実施 ・2歳児歯科健康診査（年12回）の実施（27年度から定期健康診査として実施） ・市内保育所・市内児童館での歯みがき指導（単） <table border="1" data-bbox="512 741 1386 931"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">保育園</th> <th colspan="2">児童館</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>7園</td> <td>333人</td> <td>4館</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>6園</td> <td>287人</td> <td>4館</td> <td>143人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>6園</td> <td>264人</td> <td>4館</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 学童期以降の歯科保健の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校中学校の児童生徒への歯科保健指導の実施（単） <table border="1" data-bbox="512 1025 1386 1397"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>学校保健委員会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>4校 15クラス 419人</td> <td>1校 1クラス 26人</td> <td>5校 5回 157人</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>4校 15クラス 425人</td> <td>2校 18クラス 625人</td> <td>2校 3回 97人</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>4校 13クラス 398人</td> <td>2校 9クラス 332人</td> <td>1校 1回 38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 成人期の健康の保持増進と歯の喪失の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診を年6回実施 H26年度 135人 H27年度 172人 H28年度 173人 ・成人歯科保健指導（教室） H26年度 8回 H27年度 3回 H28年度 3回 <p>4 介護予防、健康づくり等、市民の健康意識向上推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対象歯科保健指導（教室） H26年度 2回 H27年度 3回 H28年度 2回 		保育園		児童館		H26年度	7園	333人	4館	72人	H27年度	6園	287人	4館	143人	H28年度	6園	264人	4館	116人		小学校	中学校	学校保健委員会	H26年度	4校 15クラス 419人	1校 1クラス 26人	5校 5回 157人	H27年度	4校 15クラス 425人	2校 18クラス 625人	2校 3回 97人	H28年度	4校 13クラス 398人	2校 9クラス 332人	1校 1回 38人
	保育園		児童館																																		
H26年度	7園	333人	4館	72人																																	
H27年度	6園	287人	4館	143人																																	
H28年度	6園	264人	4館	116人																																	
	小学校	中学校	学校保健委員会																																		
H26年度	4校 15クラス 419人	1校 1クラス 26人	5校 5回 157人																																		
H27年度	4校 15クラス 425人	2校 18クラス 625人	2校 3回 97人																																		
H28年度	4校 13クラス 398人	2校 9クラス 332人	1校 1回 38人																																		
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期、乳幼児期から、むし歯予防のための歯科保健指導の強化 ・市内小中学校と連携したむし歯予防の取組みの強化 ・ライフステージごとの歯科保健対策を推進するために各機関との連携強化 ・歯科保健に関する知識の普及啓発 																																				

〈毛呂山町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 子ども（乳幼児・学童期）の歯科保健の推進 2 成人期・高齢期の歯科保健の推進
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの歯科保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・初めてのパパママ教室での歯科保健指導 年2回実施。 ・10か月児健診における歯科保健指導 年12回実施。 ・幼児健康診査における歯科健診及び歯科保健指導 1歳6か月児・3歳児健康診査、それぞれ年12回実施。 ・2歳児歯科健診で歯みがき指導、フッ素塗布（希望者）年6回実施。 ・歯科衛生士による歯科保健指導：町立の小学校4校・中学校2校。 ・子どものう蝕に関する情報（虫歯の本数の推移）をホームページに掲載した。 2 成人期・高齢期の歯科保健の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診（40歳以上）及び歯磨き指導： 年3回実施。（29年度実績 86人） ・歯周病予防教室：年2回実施。 ・8020よい歯のコンクールの周知・募集協力。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージにおける歯科保健対策を推進するために、関係機関との連携強化を図る。 ・歯科保健に関する知識の普及啓発。

〈越生町〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科保健に関する知識の普及啓発 2 歯科健診、歯周病健診等の普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科保健に関する知識の普及啓発 <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康まつりにおいて、歯科医師会によるフッ化物洗口、ブラッシング指導及び歯科相談を実施。 2) 2歳児歯科教室・1歳6か月児健診・3歳児健診において、歯科検診、ブラッシング指導を実施。(単) 3) 保育園、幼稚園児を対象に保健師による歯みがき講座を実施。(単) 4) 健康長寿講座の実施 知ってほしい！歯周病と糖尿病の関係 参加者 93名 2 歯周病検診の実施（40歳、50歳、60歳、70歳の方対象） 集団（保健センター）・個別（入間地区歯科医師会第4支部の協力医療機関）での実施。

今後の事業展開 ・課題等	1 歯科保健に関する知識を普及啓発する。 2 歯周病検診の受診率の向上を図る。
-----------------	--

〈鳩山町〉

関連施策名	1 歯科保健に関する知識の普及啓発 2 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発 3 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 4 口腔ケアの普及啓発
これまでの主な 取組状況・成果	1 歯科保健に関する知識の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ママパパ教室における歯科保健指導を実施した。（単） ・乳児健診で歯科指導、1歳6か月児健診、3歳児健診において歯科健診及びブラッシング指導を実施した。（単） ・比企郡市歯科医師会「8020 よい歯のコンクール」並びに「歯の健康祭り」へ参加した。 2 歯科検診の実施（成人1回、2歳児2回） <ul style="list-style-type: none"> ・日本歯科医師会が提唱する「生活支援プログラム」を実施。対象は妊婦及び40、45、50、55、60歳の町民。受診者数：34人 2ヵ月後のフォローアップ事業の参加者は21人。 口腔の健康と全身の健康の関連性について理解を深めるとともに生活習慣を改善する機会となった。 ・2歳児歯科健診において、明海大学教授による講演及び歯科健診、歯科衛生士によるブラッシング指導（染出含む）、フッ素塗布、れもんの会（地域活動栄養士の会）による親子で楽しめる虫歯予防及び食育に関するエプロンシアター等を実施した。（単） 3 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・比企寝たきり者歯科保健医療事業。比企郡市歯科医師会管内市町村による広域運営。寝たきり者に対する家庭への訪問歯科診療を比企郡市歯科医師会に委託している。 4 口腔ケアの普及啓発（地域包括支援センター事業） <ul style="list-style-type: none"> ・一次予防事業において口腔ケア講座を実施した。 ・二次予防事業において口腔機能向上の為に健口教室を実施した。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児のむし歯保有率低下のための取り組み実施。 ・「生活歯援プログラム」について、特定健診等の結果から生活習慣の改善を要する者を対象として実施していく。 ・健康教室、健康相談及び乳幼児健診等あらゆる機会を通して、歯科口腔保健と全身疾患の関係について、普及啓発を行っていく。

〈坂戸鶴ヶ島医師会〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 医科歯科連携 2 地域包括ケアシステム推進協議会での協力
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 訪問歯科は大きな課題であり、往診医、訪問歯科医も地域包括ケアシステム推進協議会を通じ、積極的に連携を図り活動している。 2 H29.1 1.19「在宅医療市民公開講座」～住み慣れた地域で最期まで～ の中で在宅医療者の口腔衛生について市民啓発を行った。 「在宅医療と口腔ケア」増野歯科医院 増野光彦氏 162名
今後の事業展開・課題等	<p>歯科医師会と情報の共有を図り、連携をさらに進める。</p> <p>H30.7 骨訴訟症治療における医科歯科連携を考える会による連携講演会予定</p>

〈坂戸鶴ヶ島歯科医師会〉

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯の健康フェア（坂戸市・鶴ヶ島市後援） 2 8020 よい歯のコンクール 3 坂戸市・鶴ヶ島市 2 歳児健診 4 坂戸市パパママ教室における歯科健診 5 坂戸市歯周病健診 6 坂戸市・鶴ヶ島市就学時健診時の保護者に対する口腔衛生教育事業 7 坂戸市・鶴ヶ島市包括ケアシステムへの協力
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 29 年度は坂戸市立市民健康センターにおいて歯の口の健康フェア 2017 を開催した（来場者 780 名）。来場児童へのフッ化物塗布の実施。また成人を含め口腔健診を行った（口腔ガン検診を含む）。また昨年同様「むし歯予防ポスター展」を開催した。同時に行われた「8020 よい歯のコンクール」では後援両市市長、保健所長を迎えて表彰式を執り行った。 2 坂戸・鶴ヶ島両市においては、1 歳 6 ヶ月と 3 歳の中間的な時期である 2 歳児健診を行い、発育期である乳幼児のむし歯予防を行うとともに保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。 3 坂戸市パパママ教室においては妊産婦及びその配偶者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。 4 坂戸市歯周病健診では年齢的に節目の 40 歳・50 歳・60 歳・70 歳の成人に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。さらに口腔衛生状態の改善を促し、市民の口腔内の健康増進を図った。 5 坂戸市・鶴ヶ島市就学時健診時の保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発し、むし歯予防を行うとともに口腔清掃技術を指導した。

	<p>6 在宅医療等推進委員会に参加し、当地域の医師、薬剤師、ケアマネージャーなどとの連携を深め、在宅医療に関する知識・情報の相互交換を推進した。</p> <p>7 坂戸市・鶴ヶ島市における全小学校の新入生に対し、口腔衛生教育を目的として歯っぴーファイルを寄贈した。</p> <p>8 坂戸市・鶴ヶ島市における全小中学校に事故対応用の歯牙保存液を寄贈した。</p> <p>9 坂戸市・鶴ヶ島市包括ケアシステム出前講座にて講演した。 8月26日 鶴二支え合い協議会 9月28日 さかっち体操クラブ 12月7日 みどりの風鶴ヶ島 男性介護者の会</p> <p>10 11月11日 在宅医療市民公開講座 「住み慣れた地域で最後まで」</p> <p>11 坂戸市・鶴ヶ島市において市民向け歯科講話を行った。</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 種々健診の受診率の向上を図り口腔保健の重要性の啓蒙する。</p> <p>2 坂戸市で実施している成人歯科健診の個別健診化を鶴ヶ島市でも開始していく。</p> <p>3 歯科衛生士会、技工士会、医師会、薬剤師会、柔道整復師会、ケアマネージャーなど関係他団体との連携のさらなる強化。</p> <p>4 在宅診療の拠点の平成30年4月開業を目指し準備を進めてきた。また、災害時に備え坂戸市・鶴ヶ島市との防災協定を締結し、口腔ケア用品等の備蓄を予定している。</p>

〈坂戸保健所〉

関連施策名	歯科保健計画推進事業
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>保健所歯科口腔保健連携会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月16日実施 参加人数30名 ・地域で取り組む「口の健康づくり」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町歯科保健担当者等が各機関の事業や地域歯科保健の現状と課題についての意見交換を通じて、地域の歯科保健の課題や効果的な歯科保健事業展開のあり方について検討し、情報の共有・連携の強化を図った。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間の中では、関係者間の討議を深めることは難しいが、関係機関が意見交換を行い、地域の歯科口腔保健の課題や今後のあり方について情報を共有することにより、歯科口腔ケアの向上を図りたい。 ・乳幼児の健全な歯・口腔の育成、学齢期の口腔状態の向上、成人期の健全な口腔状態の維持、高齢期の歯の喪失の防止を推進したい。

第6次埼玉県地域保健医療計画

川越比企保健医療圏

「圏域別取組」

関連施策推進状況調書

(平成29年度)

埼玉県東松山保健所管内地域

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	①健康危機管理体制の強化
目 標	健康危機管理意識の向上のための普及啓発や関係機関の情報共有をさらに進めます。また、健康危機管理体制の策定内容の検証を行い、各種の健康危機に対し、より実践的な対応体制の構築に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康危機管理意識の向上のための普及啓発 ■新興感染症や既存感染症の感染拡大防止策と適切な医療体制の整備 ■災害時要支援者に対する支援体制の充実 ■食中毒や、飲料水汚染等による健康被害発生時の対応体制の整備

<東松山市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 病院群輪番制・休日在宅当番医制・比企地区こども夜間救急センター・休日夜間診療所・休日歯科センターの運営、実施 2 新型インフルエンザ等対策及び各種感染症流行の注意喚起 3 熱中症対策 4 災害時における危機管理意識向上のための普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 休日・夜間に診療可能な医療機関の情報提供（広報紙・ホームページ・メール） 2 <ol style="list-style-type: none"> ①新型インフルエンザ等対策マニュアル作成中。 ②インフルエンザ流行期におけるホームページでの注意喚起、流行情報の提供(単) ③埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練（連絡訓練）への参加。 ④感染防護用備品の在庫調査 ⑤各種感染症流行のホームページでの情報提供と注意喚起(単) 3 熱中症に関する注意喚起（防災無線の放送、広報紙掲載、市民課電子掲示板・自販機のメッセージ機能によるテロップ等）（単） 市内11か所の公共施設にクールオアシスの設置 4 災害時の食事に関するリーフレット（乳幼児編・成人編）の配布(単)
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 感染防護用備品の購入計画（平成31年度～） 2 災害時の危機管理対応が可能となるような体制整備と関係機関との連携

<滑川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療体制の充実（小児初期救急医療（比企地区こども夜間救急センター）・病院群輪番制・休日在宅当番医制の運営、実施 2 新型インフルエンザ等感染症予防対策
-------	--

	3 熱中症対策
これまでの主な 取組状況・成果	1 休日・夜間に診療可能な医療機関の情報提供（広報誌、ホームページ） 2 感染症情報収集と関係機関伝達 （1）埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練（連絡訓練）に参加。 3 防災無線、広報、ホームページを活用し、情報提供と注意喚起を実施した。
今後の事業展開 ・課題等	1 迅速に危機管理対応ができるように、保健所、関係各課や医療機関など連携強化に努め、体制構築を図る。

<嵐山町>

関連施策名	1 病院群輪番制病院運営事業 2 在宅当番医制事業 3 熱中症対策 4 感染症対策
これまでの主な 取組状況・成果	1 病院群輪番制病院運営費負担金 3,231,000 円 2 在宅当番医制事業運営費負担金 348,600 円 （1）休日在宅当番医制の啓発普及について、広報に「休日当番医」を毎月掲載 （2）町民に対して健康カレンダーやホームページ・広報により健康危機管理に関する情報及び休日当番医に関する情報を提供 3 熱中症対策 （1）広報やホームページに注意喚起の記事を掲載 （2）熱中症予防の啓発ちらしを高齢者世帯や町内関連施設、シルバー人材センターなどに配布 （3）防災無線による注意喚起の放送の実施 4 新型インフルエンザ等対策連絡訓練の実施
今後の事業展開 ・課題等	1 迅速に危機管理対応ができるよう、保健所、関係各課や医療機関等との連携強化に努め、体制構築を図る。 2 新型インフルエンザ等対策行動計画ガイドライン及び業務継続計画の策定

<小川町>

関連施策名	1 新型インフルエンザ感染等予防対策 2 各種救急医療制度普及啓発 3 熱中症対策
これまでの主な 取組状況・成果	1 新型インフルエンザ等対策訓練の実施 2 感染症対策関係の備蓄チェック及び購入 3 病院群輪番制、在宅当番医制、小児初期救急医療等の休日・夜間

	<p>の診療が可能な医療機関情報について、広報、ホームページ等で町民に情報提供し、周知を図った。</p> <p>4 広報、ホームページ、防災無線等を活用し、町民へ情報提供し、周知を図った。</p> <p>5 健康危機管理のため庁内関係課、学校、関係機関との連携を行った。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 感染症や食中毒等の健康危機管理対応が迅速にできるよう、情報収集に努める。また、大規模災害等における初動体制等の整備が課題であり保健所等の関係機関との連携強化が必須。</p> <p>2 新型インフルエンザ等対策マニュアル・業務継続計画の策定</p>

<川島町>

関連施策名	<p>1 健康危機管理意識の向上のための普及啓発</p> <p>2 感染症の拡大防止策と流行の注意喚起</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 健康危機管理意識の向上のための普及啓発</p> <p>(1) 熱中症やデング熱、ジカ熱、食中毒に関する予防啓発の実施(広報・妊婦啓発ちらし)</p> <p>(2) 熱中症発症危険日において、防災無線啓発周知放送実施</p> <p>(3) 単身高齢者訪問による注意喚起(民生委員活動)</p> <p>(4) 救急車利用適正化の啓発(広報掲載・ポスター掲示)</p> <p>(5) 在宅当番医制、小児初期救急医療等、救急電話相談(#7119)の周知・啓発(広報掲載・ホームページ等)</p> <p>2 感染症の拡大防止策と流行の注意喚起</p> <p>(1) 防護服、マスク等劣化状況及び在庫確認と追加購入</p> <p>(2) 予防接種等情報提供管理サイト(かわみん子育てナビ)で感染症の流行状況の周知啓発(H29月平均アクセス数 5316 件 登録者数 343 人)</p> <p>(3) 新型インフルエンザ等対策訓練(連絡訓練)の実施</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 迅速に危機管理対応ができるように、保健所、関係各課や医療機関など連携強化に努め、体制構築を図る。</p>

<吉見町>

関連施策名	<p>1 医療体制の充実(小児初期救急医療(比企地区こども夜間救急センター)・病院群輪番制・休日在宅当番医制の運営、実施)</p> <p>2 保健サービスの充実(感染症予防)</p> <p>3 健康づくり活動の支援(熱中症対策)</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 休日・夜間に診療可能な医療機関の情報提供(広報紙・ホームページ)</p> <p>2 インフルエンザ流行期における注意喚起、流行情報の提供(広報紙・ホームページ・フェイスブック・ツイッター)</p>

	3 熱中症について、防災無線、広報紙への掲載、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、テレ玉データ放送、災害用自販機のメッセージ機能によるテロップ等での注意喚起。在宅紙おむつ、配食サービス提供時にチラシ配布による注意喚起。町内5か所の公共施設(役場・保健センター・悠友館・図書館・町民会館)にクールオアシスの設置
今後の事業展開 ・課題等	1 感染症や災害等の有事が発生した際に速やかな健康危機管理対応ができるよう、庁内関係各課や保健所、医療機関等との連携強化・連絡調整、必要物資の確保

<ときがわ町>

関連施策名	1 病院群輪番制病院運営事業・休日在宅当番医制事業の運営又は実施 2 新型インフルエンザ対策 3 熱中症対策
これまでの主な 取組状況・成果	1 関係機関との連携を密にし、協力体制の強化を図る。広報誌やホームページにおいて、夜間や休日の医療機関の情報提供を実施する。 2 新型インフルエンザ等対策行動計画を策定し、一体的な対応に努めた。 3 熱中症対策について住民への情報提供のため、広報、ホームページ等で周知を図る。高齢者訪問時には注意喚起を行う。 高温注意情報発令時には、防災無線による注意放送を行う。
今後の事業展開 ・課題等	町民に適切な情報提供を行い、継続して事業を実施していく。

<東秩父村>

関連施策名	1 新型インフルエンザ感染予防対策 2 熱中症予防対策 3 災害時要援護者の把握、対応体制の整備 4 タブレット端末(各世帯に配置)による防災情報配信システムの整備
これまでの主な 取組状況・成果	1 新型インフルエンザ対策行動計画の作成。 2 熱中症対策 (1) タブレット端末への情報配信による注意喚起。(単) (2) 広報、ホームページ等を通じて熱中症予防に関する情報提供、意識向上のための普及啓発。(単) 3 災害時要援護者、単身高齢者、高齢者世帯名簿の作成。(単) 4 緊急通報システム：独居高齢者の緊急事態に対処するため、緊急通報装置を設置して日常生活における不安を解消し、生活の安全を守る。(単) 5 平成26年度より各世帯にタブレット端末を配置し、防災情報や村の広報、暮らしの情報を配信する。また、村民の利用状況を確認することで日常の安否確認を行う。(単)

今後の事業展開 ・課題等	1 関係機関と連携し、体制の強化を図る。
-----------------	----------------------

<比企医師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 休日在宅当番医の実施 2 平日夜間小児救急外来の設置 3 予防接種及び各種検診の実施 4 啓発ポスター院内貼付に協力 5 院内感染予防のための消毒設備 6 訪問診療体制の構築 7 多職種連携の推進、地域包括ケアシステムへの協力、市町村と協議 8 市町村と災害時協力連携体制の構築
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 休日在宅当番医を3ヶ月ごとに年4回のグループに分けて実施し、感染症などの急性疾患の早期対応で感染症蔓延予防を行っている。尚、平成28年度の実績については、参加した医療機関数（当番医数）は、30医療機関。実施日数は、70日。当番医が診た患者数は、2,411名（1日平均34.4名）。 2 平日夜間（20時～22時）、医師会病院の外来を借用して、医師会会員が持ち回りで小児の緊急例を診療している。尚、平成28年の実績については、協力医師33名。診療日数は、242日。患者総数は、343名。 3 インフルエンザ、肺炎球菌、B型肝炎ワクチンなどをはじめ各種の予防接種を各市町村と協力して個別に施行している。各種がん検診（胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん等）や成人病検診について、各会員が参加協力している。 4 各種予防接種、抗体検査、各種癌検診、特定健診などのポスターを院内に貼付し、啓発に協力している。 5 手指消毒液などをエントランス・トイレなどに設置し、院内感染や食中毒に対応している。 6 平成27年10月に比企医師会在宅医療連携拠点を東松山保健センター内に設置。往診医の登録（現在まで47名）を行った。訪問診療に関する連携拠点への問い合わせ、依頼件数は、平成28年度は72件であった。そのうち往診医の照会依頼は23件あり、実際に登録往診医を紹介出来たのは6件だった。 在宅療養支援ベッド確保（9:00～17:00、毎日1床）を9病院が協力して行ってきた。今日までの支援ベッド利用患者総数は現在までに3名であった。 7 比企の9市町村を包括した形での医療・介護連携協議会が立ち上げられ、比企医師会から委員として2名が参加（1名は協議会会長）した。協議会は年3回開催された。 多職種間の情報共有目的で、埼玉県医師会主導のICT（MCS）

	<p>を取り入れることを決定し、同システム運用の説明会を開催、多職種が参加した。〔平成29年11月15日開催〕</p> <p>9市町村と合同で多職種連携の研修会を2回開催した。2回とも医師会員が主講師になり、複数の医師会員も参加して、意見を述べ、グループワーキング形式の討議に参加した。</p> <p>8 平成28年9月、東松山市との間で災害時における医療救護活動に関する協定書を結んだ。</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 休日在宅当番について</p> <p>インフルエンザ流行期や年末年始の当番医は、患者数が100名を超えることが多く、駐車場のスペースが不足している。路上駐車をしている患者もあり、近隣からクレームを受けた医療施設もある。火災時の消防車や救急車の妨げになる可能性がある。例年の受診状況を把握し、受診者が多いことが推定される日は、開業医でなく、駐車場が完備された基幹病院の協力が必要と思われる。</p> <p>6 訪問診療体制の構築について</p> <p>24時間体制で訪問診療を行える体制を構築する。そのために、主治医・副主治医体制の構築を目指す。</p> <p>在宅療養支援ベッド利用者登録数、実際の利用者共に少ないため、手続きが簡単な形でのベッド利用方法を考える。在宅療養支援ベッド利用時間が日中に限られているが、24時間体制での受け入れに向けて調整を進める。</p> <p>7 多職種連携の推進、地域包括ケアシステムへの協力、市町村と協議医療・介護連携協議会への参加を継続する。MCSを用いた情報共有を本格的に開始する。</p> <p>8 市町村と災害時協力連携体制の構築</p> <p>災害時における医療救護活動に関する協定書を逐次、残りの8町村との間でも締結するように努める。</p> <p>災害時の医療救護活動に際しての調整委員を医師会から選出するように努める。そのためにも、災害コーディネーター研修会に出席する。</p> <p>災害時に強いとされ、埼玉県医師会が導入を計画しているMCA無線の比企医師会への導入を行う。</p>

<比企郡市歯科医師会>

<p>関連施策名</p>	<p>1 休日歯科センター(日曜日、祝祭日)の当番歯科医師による急患対応の実施</p>
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<p>1 休日(日曜日、祝祭日)における当番歯科医師を決め、東松山市休日歯科センターにおいて急患対応に従事している。</p> <p>2 既存の歯科診療ユニットの老朽化に伴い、平成26年度には本会にて費用を負担し、歯科診療ユニットを購入。休日歯科医療の基盤整備においての充実が図られた。</p>

今後の事業展開 ・課題等	1 休日歯科センターにおける年間の受診者数は減少傾向であるが、休日(日曜日、祝祭日)における歯科医療の急患への対応として、専門医療職種組織として今後も歯科医療の供給が必要であるとする。
-----------------	--

<東松山薬剤師会・小川薬剤師会>

関連施策名	感染症予防等に関する意識向上のための普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域新型インフルエンザ対策連絡会への参加 2 学校薬剤師活動における環境衛生検査の実施 (教室内空気照度、プールの水、シックスクール、飲料水の検査) 3 東松山市、小川町、吉見町及び嵐山町給食センターの衛生検査 (年3回) 4 学校保健委員会における感染症予防知識の啓発 5 店頭における咳エチケットポスターに掲示。咳エチケット・手洗いの普及 6 災害発生時の対応で役員から会員への連絡体制構築
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型インフルエンザ発生時における医薬品供給体制の整備 2 大規模災害発生時における医薬品供給体制の整備 3 緊急事態発生時における薬剤師会会員への連絡体制の整備 4 停電時等における連絡体制の整備

<東松山保健所>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理に対する体制整備の推進 2 感染症予防対策の推進 3 災害時要支援者支援対策の推進 4 比企地域新型インフルエンザ対策連絡会の設置 5 食中毒発生防止対策 6 井戸水等の衛生管理
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康危機管理に関する訓練等の実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「大規模災害時慢性期健康危機管理訓練」として。東松山保健所、熊谷保健所、本庄保健所、秩父保健所管内の県及び市町村職員を対象に「大規模災害時の避難所における保健医療対策」の講義と災害3日後の避難所運営のシミュレーション訓練を平成29年6月21日に実施した。50名参加 (2) 「健康危機管理訓練」として、東松山保健所、坂戸保健所、狭山保健所管内の県及び市町村の職員を対象に、自衛隊の役割の講演及び災害時の組織作り及び資源配分訓練を平成29年12月26日に実施した。53名参加 2 結核・感染症の知識の普及啓発と連携強化

	<p>(1) 「院内感染対策研修会」を開催し、院内感染管理の基礎知識と今後課題となる多剤耐性菌における知識の向上を図った。32名参加</p> <p>(2) 「入所の福祉施設関係者ための感染症予防対策研修会」を開催し、管内における結核の現状、福祉関係者のための感染症予防対策について理解を深めた。38名参加</p> <p>(3) 結核・O-157等で高齢者施設、児童施設、事業所、医療機関等に対し相談指導を19回実施した。</p> <p>3 指定難病等の医療依存度が高い、要支援者リストの作成による災害時の安否確認の体制づくり</p> <p>4 新型インフルエンザへ対策 地域が連携して対応するため、市町村、医師会、医療機関、警察、消防、福祉団体等を構成員とする連絡会を設置している。また、管内医療機関と患者搬送の連絡体制の確認訓練、保健所職員・消防職員の防護服着脱訓練を実施した。また、新型インフルエンザ等入院医療機関の整備に関する調整を行った。</p> <p>5 食中毒発生防止対策 食中毒防止を周知するため管内市町村へ広報依頼、飲食店営業施設等に食品の衛生的な取り扱いの監視指導、食品衛生講習会を実施した。12回開催 617名参加</p> <p>6 井戸水等の衛生指導 井戸水等の水質検査の受付及び指導を実施した。13検体</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 健康危機管理については、平常時からの各市町村保健衛生主管課及び防災担当主管課、保健所等のネットワークづくりが重要であり、今後も、地域の実情に合わせた市町村支援を実施する。</p> <p>2 医療機関や入所施設等様々な機関に対し、健康危機管理について普及啓発を図る。</p> <p>3 営業者や地域住民への食品衛生知識の普及啓発に努め、食中毒発生防止を図る必要がある。</p> <p>4 家庭用の井戸は浅井戸が多く、井戸周辺の環境や地表の影響を受けやすいことから水質が不安定となるため、引き続き衛生指導をする必要がある。</p>

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	②生活習慣病の改善を含む健康増進対策の推進
目 標	ライフステージに対応した多様な健康増進事業を展開し、特に、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等の課題に関して、住民参加を基本に住民自らが生活習慣の改善に取り組める地域づくりを進めます。さらに、地区組織、ボランティア団体、大学等と協働し、地域全体で健康を支え合うことにより、健康長寿を目指します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■健康増進に関する知識の普及啓発 ■地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進 ■糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ■ライフステージに対応した健康増進事業を地域で進めるための人材育成

<東松山市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健康診査受診率の向上 2 特定健康診査・がん検診の受診勧奨 3 健康教育の充実 4 地区組織の支援
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健康診査の実施（集団健診 15 日間、個別健診 7 か月間） 受診率 H26 35.3%、H27 36.7%、H28 36.8% 2 各種団体の総会、商工会主催の「100円お宝市」等で受診勧奨を実施。個人あてのがん検診受診勧奨はがきの送付。 3 健康を守り隊シリーズ、からだイキイキきれい講座、さわやか運動教室を実施中。 骨粗しょう症予防教室 参加実人数100人、延べ人数239人 きらめき出前講座で食育、歯科保健、がん予防をテーマに実施中。 4 健康を守る会（市内4地区団体）の事務局として事業をサポート（単）
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健康診査。特定保健指導・がん検診の受診率の向上 2 住民のニーズに合った健康教育の実施 3 調理実習や運動等、地区組織と連携した健康づくりの推進

<滑川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3次滑川町健康づくり行動計画（健康増進計画・食育推進計画）の策定 2 特定健康診査・保健指導率の向上 3 健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」の実施
-------	---

	<p>4 埼玉県コバトン健康マイレージの実施</p> <p>5 生活習慣病重症化予防対策事業の実施</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 健康増進計画・食育推進計画を第3次滑川町行動計画に位置づけ策定した。</p> <p>2 集団健診は6月に4日間（土曜日あり）、10月に1日実施。特定健診と合わせて、長寿健診(75歳以上)、若者健診(20～39歳)、がん(大腸・肺)、肝炎ウィルス(40歳)、結核検診を同日実施。 特定健診の個別健診は6月1日～12月25日まで実施。 (1) 特定健診未受診者(1833人)へ圧着ハガキによる受診勧奨実施 (2) 動機付け支援対象者に対し7月下旬3日間指導日を指定し来所面談。未受診の方は担当保健師が随時調整し実施した。 積極的支援対象者は医師会病院へ委託。 特定保健指導実績：27年度14% 28年度33.3% 特定健診実績：27年度39.8% 28年度40.7%</p> <p>3 「毎日1万歩運動」参加者150名募集し140名参加。歩数計を配布し、6ヶ月間毎日1万歩を目指してウォーキング。実施前後の身体測定、体力測定、栄養教室、運動教室実施。</p> <p>4 「埼玉県コバトン健康マイレージ」について広報周知し、町内8箇所へタブレット端末設置。</p> <p>5 埼玉県国民健康保険団体連合会と協定を結び、糖尿病性腎症重症化予防を目的にハイリスク者19名を選定し、四箇所の医療機関の協力のもと、保健指導を委託。4名実施した。</p>
今後の事業展開・課題等	<p>1 特定健診受診率、特定保健指導率の向上</p> <p>2 健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」の実施</p> <p>3 埼玉県コバトン健康マイレージの実施</p> <p>4 生活習慣病予防のための相談・教室の実施</p> <p>5 生活習慣病重症化予防対策事業の実施</p>

<嵐山町>

関連施策名	<p>1 特定健診の受診率向上</p> <p>2 健康長寿埼玉モデルの実施</p> <p>3 生活習慣病予防のための相談・教室の実施</p> <p>4 地区組織と協働した食育の推進</p> <p>5 生活習慣病重症化予防対策事業の実施</p>
これまでの主な取組状況・成果	<p>1 ①特定健診・がん検診受診勧奨用リーフレットを作成、各地区保健推進員を通じて全戸配布、啓発物資(救急絆創膏・ポケットティッシュ)を嵐山まつりで配布。②特定健診に係る診療情報提供事業に参加。③特定健診の未受診者へ圧着はがき・リーフレットによる受診勧奨(3,026人)、その後未受診者に再勧奨(2,560人)を実施。④町内小学4年生全員に家族への受診を呼びかける手紙(メッセージ)を作成依頼・送付(116人)。</p>

	<p>2 健康寿命の延伸を目的に、トレーニングルーム等を活用した筋力トレーニング、ウォーキング、地産地消による食事指導等をセットにした教室を7か月間実施（参加者64人）。参加者に活動量計を配付し、体組成計・血圧計で計測、毎日の歩数管理を行うとともに、健診結果や医療費等を分析することで効果を検証する。</p> <p>昨年度教室参加者を対象に運動教室・体力測定・血液検査を実施。</p> <p>3 特定保健指導対象者以外で検査値が基準値を超える者を対象とした健診後の健康相談を実施。</p> <p>4 「嵐山町味の会」と協働し、嵐山の味メニューを広報誌に掲載。（単）</p> <p>5 埼玉県国民健康保険団体連合会と協定を結び、糖尿病で未受診者・受診中断者に対して受診勧奨、糖尿病性腎症で通院している方に対して保健指導を実施。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 特定健診等の受診率向上を目指し、受診勧奨通知やオートコール等の効果を検証し、引き続き受診勧奨を行う。</p> <p>2 健康長寿埼玉モデルについては、教室終了後も参加者が継続的な取り組みができるよう、支援方法を検討していく。</p>

<小川町>

関連施策名	<p>1 健康増進計画・食育推進計画の推進</p> <p>2 特定健康診査・保健指導の充実</p> <p>3 特定健診受診率向上対策</p> <p>4 健康教育の充実</p> <p>5 生活習慣病の重症化予防（二次健診）</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 26年度に策定した健康増進計画・食育推進計画推進の進捗管理のため、健康づくり推進会議において事業実施状況を報告した。</p> <p>2 特定健康診査の基本項目に加え、追加項目として、血清尿酸、血清クレアチニン、貧血検査、尿潜血検査のほか、心電図検査、眼底健診を実施した。</p> <p>3 受診率向上対策として、①過去に1度でも受診歴のある方へ電話による受診勧奨②今年度未受診者へのはがきによる受診勧奨③イベント及び各種教室、地区組織での健診受診勧奨PR活動緒を実施した。</p> <p>4 町民の健康増進やウォーキングの推進のため、「はじめよう 骨活～骨から元気になりましょう～」をテーマに健康講演会を実施。</p> <p>5 特定健康診査で特定保健指導対象者のうち、積極的支援、動機付け支援に該当し、医師が必要と認めた者に対し、二次健診を実施した。</p> <p>また、特定保健指導対象者の他に慢性腎臓病予備群、高血圧症（Ⅱ度以上）の者に対し、個別指導を実施した。</p> <p>その他、誰でも取り組みやすいウォーキングを継続することで健康づくりの推進と町民の健康への意識向上を目指すため、埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加と、小川町健康ポイント事業を実施した。（県事業200人参加、町事業90人参加）</p>

<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり推進会議において、計画の進捗管理を行う。 2 慢性腎臓病・高血圧の重症化予防として、引き続き健診項目等の充実を図り、保健指導率を確保していく。 3 特定健康診査等の受診率向上を目指し、地区組織と連携し、未受診者に対し受診勧奨を行う。 4 健康づくりの推進の為、ウォーキング事業やポイント事業への参加を増やし、対象事業の拡大と住民への周知を勧める。
-------------------------	---

<川島町>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・がん検診の受診体制の充実及び受診率の向上 2 健康長寿埼玉モデルの実施及び充実 3 健康づくり啓発事業の推進
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・がん検診の受診体制の充実及び受診率の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 受診しやすい環境整備 ⇒特定健診・胃がん検診・大腸がん検診 肺がん検診・前立腺がん検診・骨密度測定に新規に歯科健診を同時 実施とした。また、子育て中の母親が受診しやすいよう、託児会場 を設けた。(集団方式⇒7日間、医療機関方式⇒7か月間) (2) 保健委員による受診率向上対策事業 ⇒地区訪問PR活動等 (3) 10月に特定健診未受診者に圧着ハガキによる受診勧奨の実施 特定健診受診率 H26 46.5% H27 46.6% H28 48.3% 特定保健指導率 H26 42.9% H26 36.3% H26 32.5% 2 健康長寿埼玉モデル事業の実施⇒H28実績 新規教室参加者⇒125人(内、20人が特定保健指導対象) 継続クラス参加者⇒160人 実施回数271回 参加者数(実)285人 参加者数4049人(延) 医療費検証の実施(継続クラスの国保加入者40人) H27年10月～H28年12月までの月平均医療費において、対 象群(参加者一人に対して同性・同年齢で検証開始時期の医療費が近 い3人)を選定し、比較検証をした。 結果：○参加者医療費は、減少。(－2,676円) ○対象群医療費は、増加。(＋4,712円) ○参加者の平均年間医療費を開始当時と1年後で比較する と、25,000円の減であった。 3 健康づくり啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> (1) かわべえ健康大学(H29)実績 実施回数 9回 参加者数実人員 53人、延人数 429人 内容 ①魅力満点野菜の力 ②心のリフレッシュ術 ③身体と きめく歩き方 ④美味しく食べて健康に ⑤健康の秘訣は 正しい血圧管理から ⑥今がかん腎、腎臓を守るために 他

	<p>を実施。②と⑥は、オープンカレッジで行った。</p> <p>(2) 武蔵丘短期大学とのコラボ食育事業「むさたんキッチン」を2月実施予定。内容は、地元野菜を使ったヘルシーメニュー（9品）の提供と農産物直売所の出張販売による地元野菜と特産品の販売コーナーの設置、食育イベント（350gの野菜計りゲーム等）の実施。</p> <p>4 腎対策訪問指導事業の継続 Δe-GFR 高値の方を対象に訪問指導事業を実施予定（2月～3月）</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 特定健診の受診率向上・特定保健指導率の向上</p> <p>2 腎対策の推進と高血圧や糖尿病、慢性腎臓病の重症化予防啓発事業の推進</p> <p>3 県補助金終了後の筋力アップ教室の運営方法における検討</p>

<吉見町>

関連施策名	<p>1 健康づくり活動の支援(健康まつりの開催)</p> <p>2 保健サービス充実(特定健診・保健指導の充実)</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 よしみ健康づくりチャレンジポイント（よしみ健康マイレージ）の実施（参加者200名） 埼玉県コバトン健康マイレージを活用しつつ、普段の生活から健康づくりに取り組み、町の各課が実施する健康づくりの事業に参加して一定のマイレージ（ポイント）をためると、「吉見町地域通貨券」に替えることができる、楽しみながら健康を目指すためのポイント制度</p> <p>2 健康まつりでは、血圧や体組成計測定、武蔵丘短期大学、埼玉県健康づくり事業団による体力測定やボランティア団体の〇8(よいは)の会と協力した歯科衛生士によるブラッシング指導等を実施</p> <p>3 6月下旬～7月上旬に日曜日を含む6日間、特定健診（集団）とがん検診（肺がん・大腸・前立腺・結核・肝炎）、骨密度測定を同日に悠友館で実施 受診率 H26 39.7% H27 38.0% H28 38.8%</p> <p>4 特定保健指導対象者への電話勧奨・個別訪問を実施</p> <p>5 民間や地域と連携した事業として、集団特定健診の会場で埼玉県健康づくり事業団等に、骨密度測定及び体力測定業務を委託。骨密度の結果で指導が必要な方には、骨コツ(こつこつ)教室を開催し、運動及び栄養指導を実施</p> <p>6 特定健診受診者で人工透析のリスクが高い方を対象とした慢性腎臓病予防の教室を開催。また、比企医師会専門医を講師に招き、「健康長寿の秘訣について」の健康講演会を実施</p> <p>7 健康相談及び教育について、希望のあった自治会に集会場等で健康講座を実施</p>

<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 民間や地域と連携した事業 引き続き、民間、ボランティア団体及び地域と連携協力して事業実施をしていく。 2 糖尿病・慢性腎臓病の重症化予防 対象者（血糖・血圧・CKD ステージ）、実施内容等の再検討。
-------------------------	--

<ときがわ町>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康診査(特定健診・若もの健診・いきいき健診)の実施 2 特定保健指導率の向上 3 「スモールチェンジ」活動の推進 4 継続しやすい健康づくり教室の実施
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・いきいき健診は、集団以外に個別、人間ドックを実施。 集団では各種がん検診、歯科衛生士による歯の健康相談などを同時実施し、魅力ある健診内容をめざし継続受診者を増やす取組を行った。 2 特定保健指導対象者に対し、生活習慣の改善を促すため健診後に結果報告会を実施。また、e-GFRとHbA1cが高値の人を対象に保健指導を行い重症化予防に取り組んだ。 3 TOKIGAWA ストレッチの普及啓発をボランティアを養成して進める 4 埼玉県健康長寿モデル事業として「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」を実施し、運動習慣の長期継続に向けて取組む。
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・特定保健指導の受診率向上 2 スモールチェンジ事業の継続 3 「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」事業の拡大

<東秩父村>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・若もの健診・長寿医療健診 2 特定保健指導および健診結果説明会 3 心身軽やか運動教室および健康長寿埼玉モデルの実施 4 健康長寿サポーターの養成 5 個別健康教育、運動教室の修了者による自主グループの支援
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 集団の特定健診、20歳～39歳、75歳以上の住民の健康診査とがん検診、骨密度測定を同日に実施。また、健診申込書は地区の衛生委員を通じて全戸配布している。(単) 2 特定健診に貧血検査、心電図、眼底検査、腎機能検査(eGFR)を追加。(単) 3 平成27年度から特定健診・がん検診の自己負担を無料にした。 4 健診結果説明会と特定保健指導の実施。保健指導の対象ではない希望者にも保健指導を個別に実施。(単)

	<p>5 健診結果のHbA1cが高値の住民に個別訪問、電話を実施。</p> <p>6 運動教室は季節ごとに開催時間を変え、「ヨガ教室」、「楽しく体を動かそう」「たっぷりストレッチ」「エアロビクス」、「減ら脂ま塩う(調理実習)」といった多彩な内容で実施。 平成28年度から「楽しく体を動かそう」と「減ら脂ま塩う」を健康長寿埼玉モデル(筋力アップ)に組み込み、昼・夜の2コースを実施。参加実人数は平成28年度62名、29年度78名。</p> <p>7 健康長寿サポーターを地域包括支援センターのボランティア養成講座の一コマで養成。(単)</p> <p>8 各教室修了者を自主グループ化して、継続支援を実施。(単)</p> <p>9 埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加。今年度は100名が参加している。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 各事業の参加率の向上と内容の充実</p> <p>2 健診未受診者対策</p>

<比企医師会>

関連施策名	<p>1 糖尿病教室の実施</p> <p>2 糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プログラム事業</p> <p>3 健診後の健康相談会の実施</p> <p>4 シンポジウムへの参加と講師派遣</p> <p>5 歯科医師会との連携</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 東松山医師会病院、東松山市立市民病院、小川赤十字病院などの地域基幹病院で糖尿病教室を開催し、糖尿病の合併症予防を指導している。</p> <p>2 糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムに協力し、指導該当者の選択・参加呼びかけを行っている。</p> <p>3 保健センター主催の特定健診後の相談会に講師を派遣している。</p> <p>4 市町村主催の健康教室に講師を派遣している。また、ポスター貼付に協力し、各種医療シンポジウム参加を住民に呼びかけている。</p> <p>5 歯科医師会主催の市民公開講座を共催し、講師派遣・ポスター貼付に協力している。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムに対して指導対象者に推薦状を送り、指導内容の報告書を受け取っているが、院内指導と異なることがあり、患者が困惑したケースがある。</p> <p>(例) 院内指導では、断酒を指導していた患者に対して、『アルコールの適量は、ビール350ml、グラスワイン1杯、日本酒1合くらいに留め、週2日の休肝日を設けましょう』という指導があった。</p>

<比企郡市歯科医師会>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 歯科口腔保健の立場からの生活習慣病対策と重症化防止への取組 (新しい成人歯科健診※の実施・普及への取組) ※ 日本歯科医師会作成「生活歯援プログラム(正式名称;標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル)」→一次予防に主眼を置いた成人歯科健診 2 管内市町村における生活習慣病対策事業への協力参加、及び歯科口腔保健の関わりについての普及・啓発 3 地域住民に対しての生活習慣病と歯科口腔保健との関わりについての知識の普及・啓発
<p>これまでの主な取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病対策の一環としての成人歯科健診の実施 日本歯科医師会作成『生活歯援プログラム』を活用した新しい成人歯科健診・保健指導の実施と事業協力。 (1) 川島町における成人歯科健診への事業協力(H25~) (2) 東松山市における「大人のための健康歯援プログラム」事業への協力(H27~) (3) 吉見町における「パパママ歯科健診」への事業協力(H28~) (4) 鳩山町における「健康生活歯援プログラム」事業への協力(H29~) ➤ 地域住民の歯と口腔の健康づくり、及び全身の健康との関わりへの意識や関心を高めることができたと考える。 2 生活習慣病と歯科口腔保健の関わりについての歯科講話等の実施 高齢者及びハイリスク者へ歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止へのアプローチとして実施。 (1) 東松山市介護予防教室における歯科講話の実施((H29年1回) (2) 東松山市「大人のための健康歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病チェックリスト』(埼玉県医科歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H27~) (3) 吉見町慢性腎臓病(CKD)予防教室における歯科講話及び保健指導の実施(『生活歯援プログラム』を活用した保健指導・H28~年2回・教室への事業協力/教室開催年4回) (4) 鳩山町「健康生活歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病チェックリスト』(埼玉県医科歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H29~) (5) 比企広域市町村圏組合「介護認定審査会委員研修会」における講話の実施(H29・年1回(予定)) ➤ 歯科講話とともに『糖尿病と歯周病チェックリスト』を活用するなど、糖尿病を含めた生活習慣病と歯周病の関わりについて地域住民や他職種への情報提供と普及啓発ができたと考える。 3 市民公開講座の開催(H29・年1回(予定)) 「食から始める健康長寿一タニタの健康セミナー」

	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時；平成 30 年 3 月 4 日（日）松山市民活動センター 1F ホール ・対象者；地域住民、歯科関係職種、行政職員、他） ・講演 2 題； <p>講演 1 「タニタの健康セミナー」 講師；株式会社タニタヘルスリンク 管理栄養士</p> <p>講演 2 「在宅医療における全身疾患の着眼点～全身の健康と歯周病の関わり」 講師；比企郡市歯科医師会 松本一真</p> <p>➤ 地域住民に対して、全身の健康と歯科口腔保健との関わりについての知識の普及・啓発ができたと考える。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止への取組についての多職種へ周知、及び地域住民への情報提供と啓発が必要と考える。</p> <p>2 特に、糖尿病の合併症であると歯周病との関わりについて、さらなる情報提供と啓発が必要であると考え。</p>

<東松山薬剤師会・小川薬剤師会>

関連施策名	健康づくりに関する知識の普及啓発
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種団体の健康づくりに関する講演会への講師派遣 2 生きがい大学、きらめき大学、老人クラブ等の健康づくりに関する講演会への講師派遣 3 服薬指導時に健康指導、食事指導、生活習慣病予防指導 4 薬局店頭でのパンフレットの配布 5 学校薬剤師による「薬の正しい使い方」及びたばこの害、薬物・危険ドラッグの怖さについての講演 6 自治体等の活動の場でのお薬相談 7 キッズファーマシーの開催（小川薬剤師会）
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 一次予防（薬局を拠点とした健康情報の発信）に取り組む。 2 薬局店頭におけるセルフプリベンション（自己予防）の普及。 3 薬剤師の糖尿病に関する知識の向上を図る。 4 学校薬剤師活動における薬の正しい使い方、禁煙教育の充実及び薬物・危険ドラッグに関する正しい知識を養う。

<東松山保健所>

関連施策名	健康づくり対策の推進
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 食育の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 食育推進研修会の開催 管内保育所及び幼稚園・学校給食共同調理場・市町村関係職員等を対象にした研修会を開催 38名参加

	<p>(2) 学校保健との連携 学校保健会総会にて、児童・生徒期の子どもたちへの食育の推進についての講話を実施。</p> <p>2 健康づくりに取り組みやすい環境整備</p> <p>(1) 飲食店等における栄養成分表示の普及促進事業の実施 「埼玉県健康づくり協力店」を指定し、栄養成分表示等を活用し住民自らが生活習慣の改善に取り組めるよう、食環境の整備を行っている。 43店</p> <p>(2) 受動喫煙対策の実施 全面禁煙・空間分煙実施施設 125施設</p> <p>(3) 健康産業育成プラスセミナーの開催 管内市町村関係職員及び健康づくり協力店、食品業者等を対象に減塩調理をふまえたメニュー開発のポイントや食塩を低減した食品開発等についての講演や先進事例の紹介をおこなった。32名参加</p> <p>3 生活習慣病対策 関係機関における情報交換や保健指導実務者の実践的な研修を通じて、特定健診・特定保健指導の円滑な推進をはじめ、管内の地域・職域の連携強化に取り組んでいる。</p> <p>(1) 生活習慣病予防に関する研修会の開催 3回</p> <p>(2) 健康課題対策会議の開催 1回</p> <p>(3) 担当者会議の開催 2回</p> <p>(4) 特定健診・保健指導スキルアップ研修会の開催 2回</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 生活習慣病の発症予防・重症化予防のためには、若い世代からの取組が重要である。子どもへの食育や働き盛り世代が健康づくりに取り組めるような環境づくりに取り組む必要がある。</p> <p>2 管内市町村においては、健康増進計画や食育推進計画、データヘルス計画が整備されつつあり、それらの計画推進と連動し地域の生活習慣病予防対策を進めていく必要がある。</p> <p>3 在宅高齢者の増加も見込まれることから、健康長寿を目指し高齢者への食生活支援も併せて行っていく必要がある。</p> <p>4 特定健診・特定保健指導については、国民健康保険において平成30年度から県が保険者となることから、実施者である市町村へのより一層の支援が必要となる。健診受診率の向上、より効果的な特定保健指導の実施等様々な課題に対し、その具体的な取組を支援していく方策を講じていく必要がある。</p>

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	③精神保健福祉医療対策
目 標	必要な人が速やかに保健・福祉・医療の支援を受け、円滑な地域生活が送れるように、関係機関の連携を強化します。また、精神保健に関する知識の普及啓発に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■心の健康に関する専門医療機関と一般医療機関や保健・福祉に係る関係機関等との連携強化 ■自殺予防対策の推進 ■メンタルヘルスに関する知識の普及啓発 ■薬物乱用防止の普及啓発及び薬物問題に悩む本人・家族への相談体制の整備

<東松山市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神障害者福祉連絡会議の開催 2 こころの健康相談の実施 3 メンタルヘルスに関する知識の普及啓発 4 薬物乱用防止対策
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内の医療機関、精神保健福祉に関係機関の相談員等がメンバーである会議の開催による連携強化。年4回。（単） 2 臨床心理士による「こころの健康相談」（月1回予約制）の開催。4～12月の相談利用者16人。（単） 3 メンタルヘルスに関する啓発ポスターの掲示、リーフレットの配布、ホームページでの情報提供。（単） 4 薬物乱用防止6. 26ヤング街頭キャンペーン 3回（5か所） 薬物乱用防止講演会等の開催 22回
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 自殺予防対策の普及啓発の推進 2 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物乱用は、大きな社会問題となっており、関係機関と引き続き協力し、指導取締り・流通阻止の強化や予防啓発の推進を図る必要がある。

<滑川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害福祉相談の実施 2 高齢者こころの相談 3 相談支援事業 4 自殺対策強化事業の実施 5 薬物乱用防止に関する知識の普及啓発
-------	--

これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 三障害（身体・知的・精神）の福祉相談を月 1 回実施。 2 月 1 回認知症専門医が認知症状のある方やその家族などの相談に応じている。窓口は地域包括支援センター。 3 東松山保健所主催の「スペースHIKI」「子どもの心の健康相談」「ひきこもり専門相談」を必要に応じ情報提供。 4 自殺対策講演会を 3 月実施 5 薬物乱用防止の啓発ポスター掲示 パンフレット窓口配布
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談窓口の継続及び啓発普及 2 個別支援における連携体制の充実

<嵐山町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談支援事業 2 精神保健福祉普及事業
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 ・関係機関と連携を図り、広報等により情報提供を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもの心の健康相談」「ひきこもり専門相談」東松山保健所 ・「働く人のメンタルヘルス相談」埼玉県労働相談センター 2 ・広報による自殺予防週間の周知と啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者家族の会への協力 定例会への出席、請願書の署名 ・薬物乱用防止キャンペーンの実施 *夏まつりの会場内で、保護司・更生保護女性会が啓発用品を配布 *学校保健委員会での啓蒙 中学校 2 地区の保健委員会（年 1 回）において啓蒙活動
今後の事業展開 ・課題等	相談支援体制の充実

<小川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 こころの健康相談 2 家族のつどい 3 ソーシャルクラブ「こころのカフェ」 4 自殺対策緊急強化事業
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 こころの健康相談 精神科医等による相談を実施している。 2 ソーシャルクラブ「こころのカフェ」 精神に障害のある者等がグループ活動（調理、レク等）を行い、生活体験、社会参加を行った。（年 1 2 回実施予定） 3 自殺対策強化事業 自殺予防週間の 9 月 1 1 日に駅前にて自殺予防キャンペーンを実施し、啓発グッズを配布。

	<p>商工祭にて自殺予防啓発グッズを配布。 広報おがわ（9月、3月）に相談先を掲載し、自殺予防に対する普及啓発事業を実施した。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談窓口の継続及び普及啓発 2 ソーシャルクラブ「こころのカフェ」等の精神保健事業の継続、事業の充実 3 自殺予防に対する普及啓発

<川島町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉相談 2 ソーシャルクラブ 3 心の健康に関する知識の普及啓発 4 精神保健福祉にかかわる情報交換会の実施 5 薬物乱用防止の普及啓発
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉相談 精神症状を抱える方やその家族を対象にした個別相談会を実施。H28実績 12回、相談者数7人 2 ソーシャルクラブの実施 H28実績 12回、参加実人数9人(延40人) 3 心の健康に関する知識の普及啓発 こころの健康づくり講演会の実施 H29実績 1回 参加実人数73人 4 精神保健福祉に関わる情報交換会の実施 ソーシャルクラブ同日に、精神障害者個別支援に関わる関係者によるケース情報交換会を実施。 5 職員の個別支援におけるスキルアップと関係機関との連携強化をするため、ときがわ町でおこなっている事例検討会に出席。 6 薬物乱用防止の普及啓発 ポスターの掲示、広報による周知啓発
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談窓口の継続及び啓発周知 2 個別支援における連携体制の充実

<吉見町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり活動の支援(こころの健康相談の実施・自殺予防対策の推進・精神保健における社会復帰支援)
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 自殺予防に関するポスター掲示、リーフレット配布 2 平成25年度から心の悩みの早期発見・早期治療のため、セルフメンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」を導入し、内容を充実(小中学生及びその保護者を対象とした「いじめのサイン」や自死された遺族の方を対象とした「大切な人を 突然亡くされたあなたへ」を追加)させ活用している。

	<ul style="list-style-type: none"> 3 ソーシャルクラブ(社会復帰支援事業)を月1回実施 4 心の健康に関する関係機関との連携強化、職員の専門性と資質向上のため、ときがわ町で実施している事例検討会に月1回参加
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 1 相談支援体制の充実 職員、関係者のスキルアップ、心の健康に関する関係機関との連携強化。

<ときがわ町>

関連施策名	<ul style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉士によるこころの相談の実施 2 事例検討会の実施 3 「こころのABC活動」と心の健康講座による啓発
これまでの主な 取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉士によるこころの相談を月2~3回実施している。人間関係、家庭の問題、アルコール、精神の病気等の相談。継続支援ケースについては、精神保健福祉士と保健師が対応。 2 心の健康に関する関係機関との連携強化と、職員の専門性と資質の向上をめざし事例検討会を月1回実施。 3 こころの問題を予防するため、スモールチェンジ「こころのABC活動」のポスター掲示や広報紙、ホームページに掲載して啓発に努める。 4 心の健康講座「きずなカフェ」を年2回実施しメンタルヘルスに関する知識の普及と啓発を行う。
今後の事業展開 ・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 1 こころの相談の継続 2 メンタルヘルスに関する知識の普及啓発に努める 3 身近な相談相手を増やす取組みを進める

<東秩父村>

関連施策名	<ul style="list-style-type: none"> 1 ソーシャルクラブ 2 関係機関との訪問活動 3 自殺予防対策パネルの設置
これまでの主な 取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 1 ソーシャルクラブではさまざまな障がいをもつ人が集まり、言語リハビリ、作業療法、料理、レクリエーションなどを通して仲間づくりや社会復帰をめざすための活動をしている。参加者は精神障がい者に限定せず、身体障がい者、知的障がい者にも枠を広げ、社会参加の場として毎月1回開催している。(単) 2 総合福祉エリア、比企生活支援センターの協力を得て、障がい者の現状把握のために訪問活動を実施している。(単) 3 自殺予防対策パネルを保健センター、役場、コミュニティセンターに設置する。

	4 関わり、支援の難しいケースについては、役場内の担当者間、関係機関と常に情報を共有し、地域ケア会議等で対策を話し合っている。
今後の事業展開 ・課題等	1 ソーシャルクラブをより参加しやすい場にしていく。 2 潜在している問題、支援を必要としている人の掘り起こし。

<比企医師会>

関連施策名	1 心の健康対策 2 自殺未遂者対策 3 メンタルヘルス対策
これまでの主な 取組状況・成果	1 心の健康対策 心の健康に関する講演会と医療・介護・福祉の従事者とのディスカッション 2 自殺未遂者対策 「こころのケア受診のご案内」のリーフレットの配布 3 メンタルヘルス対策 (1) 産業医研修会での講演 (2) ストレスチェックの講演会を開催する 4 高ストレス者に対する面談指導
今後の事業展開 ・課題等	心の健康対策、メンタルヘルス対策を強化し、自殺者の軽減を図る。

<東松山薬剤師会・小川薬剤師会>

関連施策名	1 地域に密着した総合的な健康情報 2 自殺予防対策 3 薬物乱用防止の普及啓発
これまでの主な 取組状況・成果	1 薬物乱用防止指導員及び介護認定審査委員で協力 2 薬物乱用防止教室は各種団体の依頼に応じ講師派遣 3 店頭「介護何でも相談」の看板を設置(東松山薬剤師会) 4 地域住民の健康支援・相談対応として食生活、禁煙、心の健康、介護ケア、OTC、サプリメント、健康食品の情報提供相談 5 会員店頭「自殺対策強化月間」、「薬物乱用防止」啓発ポスター掲示、薬物乱用防止パンフレット等啓発資材の配布
今後の事業展開 ・課題等	1 自殺対策に関する知識の習得 2 ゲートキーパーとして知識の習得及び薬局店頭での対応 3 危険ドラッグの知識の習得及び普及啓発

<東松山保健所>

<p>関連施策名</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域の関係機関との連携強化 2 自殺予防対策の推進 3 地域住民への知識の普及啓発の推進 4 個別相談の充実 5 薬物乱用防止対策
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉医療に携わる職員の情報交換、情報提供 精神保健福祉連携調整会議の開催 22名参加 2 精神保健や自殺予防等に対する理解の促進と関係機関との連携。 (1) 精神保健福祉研修 <ul style="list-style-type: none"> ・「大人の発達障害について」(59名予定) ・「支援者のメンタルヘルス」(14名) ・「精神障害者地域移行支援研修会」(27名) ・「精神保健福祉法に係る事務担当者研修会」(38名) 3 地域住民へのメンタルヘルスの普及啓発 (1) 統合失調症家族の集いの協力・参加 (2) ひきこもり家族教室1回、家族の集い1回 4 個別相談、専門相談の実施 (1) 面接・訪問・電話相談 (2) 専門相談 5 薬物乱用防止キャンペーン 薬物乱用防止6.26ヤング街頭キャンペーン 3回(5か所) 薬物乱用防止講習会 29回 薬物乱用相談受付 6名
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神保健福祉対策や自殺予防対策を推進するためには、保健福祉や教育機関との連携が重要である。今後も関係機関と協働して普及啓発に努めるとともに、相談支援者のスキルアップを目的とした研修会を開催する。 2 個別相談や専門相談の充実、関係機関との連携を強化し、適切な医療への導入や退院支援を行い、対象者に入院から在宅療養までの切れ目のない支援を提供する。 3 麻薬・覚せい剤・危険ドラッグ等の薬物乱用は、大きな社会問題となっており、関係機関と引き続き協力し指導取締り・流通阻止の強化や予防啓発の推進を図る必要がある。

圏域別取組項目	④親と子の保健対策
目 標	子どもたちが健やかに成長できるように、妊娠・出産期からの相談体制の整備をさらに進めます。また、育児に対する不安や負担感を持っている家庭への支援のための地域ネットワークづくりに努めます。親と子のライフステージ全体を視野に入れた支援ができるように、関係機関の連携を強化します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の子育て支援体制の充実 ■健康上の課題のある子どもと家庭への支援体制の充実 ■育児の要支援家庭や児童虐待の心配のある家庭への支援体制の充実 ■心の健康問題に関する相談体制の充実と関係機関の連携強化 ■人材育成を推進するための研修体制及びネットワークの整備

<東松山市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 子育て世代包括支援センター事業の推進 2 乳幼児健診の実施及び未受診児対策の推進 3 新生児産婦訪問、未熟児訪問、乳幼児健康相談等の実施 4 両親学級、親子教室等の実施 5 児童福祉、精神保健、生活保護担当等の連携
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに切れ目なく支援をするため、妊娠届出時の面接において状況を把握し、必要に応じて関係機関との連携をし、きめ細かい相談支援を実施する。 2 乳児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を毎月1回実施している。未受診児については電話、訪問等により受診勧奨をしても連絡がとれない場合は関係部署と連携し状況把握に努めている。 3 助産師、保健師による新生児産婦訪問を実施し、早期からの育児支援に努めている。H27年度691件、H28年度622件。また、健康上ハイリスクとされる未熟児への訪問を実施している。乳幼児健康相談では精神発達面に心配のある児の心理相談延120件、言語発達に心配のある児の言語相談延88件、運動発達に心配のある児の相談延55件 4 妊娠、出産、育児に関する知識・技術の習得と仲間づくりを目的に両親学級を実施している。年5コース、1コース6回。参加者延500人。また、発達に心配がある児や育児不安の保護者を対象に親子教室(パンダ教室)を実施している。参加者延135人。(単) 5 複雑な課題が多いケースは関係部署と連携し支援を実施。

今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 増加する育児不安や児童虐待等困難ケースへの支援 2 子育て世代包括支援センター事業の拡充
-----------------	---

<滑川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠届け時アンケートの実施、パパママ教室の実施 2 乳児家庭全戸訪問事業・未熟児訪問事業の実施 3 乳幼児健診の実施及び未受診児対策の推進 4 予防接種事業（未接種者フォロー） 5 ことばの相談・子ども発達相談・親子教室の開催 6 児童福祉・障害福祉・教育委員会等との連携 7 不妊検査費・不妊治療費助成事業の実施
これまでの主な 取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子健康手帳交付時、アンケート調査と面接を通しハイリスク者の早期発見し関係機関と連携の上切れ目のない支援を実施。 妊娠・出産・育児に関する知識と技術の習得と仲間づくりを目的としパパママ教室を年4コース(1コース2回内土曜日実施有)実施。夫、祖父母の参加あり。妊婦同士の交流会、歯磨き、沐浴実習をポイントとし回数を減らした。 2 助産師、保健師による乳児全戸訪問指導を実施。早期訪問により育児不安の軽減、産後メンタルヘルスの支援に努めた。医療機関からの支援連絡票と随時連携により入院中からケース検討会を行い退院後の支援に努めた。 3 乳幼児健診未受診者に電話、訪問による受診勧奨を実施。連絡困難な場合は児童福祉担当と連携し状況把握を行う。 4 生後2ヶ月児を対象に毎月予防接種関係書類を郵送。 定期的に未接種者をリストアップし勧奨通知郵送。 就学時健診時、母子健康手帳の予防接種欄をチェックし、未接種者に対し接種勧奨を実施。 5 児の発達の遅れ、親子ともに育児支援を必要とする方を対象に毎月1回専門スタッフによる個別相談、教室を実施。 6 要保護児童対策地域協議会・就学支援委員会・中学校いじめ非行防止ネットワーク会議、町内小中学校と町（児童福祉担当、母子保健担当）との定例会議へ出席し、情報共有のうえハイリスク家庭の支援と見守り活動を実施。 7 不妊検査費助成事業 埼玉県10/10補助 1組夫婦に対し2万円を上限額とし助成。 不妊治療費助成事業 埼玉県1/2補助 県初回助成決定の1組夫婦に対し、10万円を上限額とし助成。
今後の事業展開 ・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 育児不安、児童虐待等困難ケースへの支援（対象者の増加） 2 人材確保とスキルアップ 3 不妊検査費・不妊治療費助成事業の継続実施

<嵐山町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 両親学級の開催 2 妊婦訪問の実施(単) 3 乳児家庭全戸訪問事業・未熟児訪問事業の実施 4 乳幼児健診の実施及び未受診児対策の推進 5 子育て支援・児童福祉担当との連携
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 妊娠、出産、育児に関する知識・技術の習得と、仲間づくりを目的に両親学級を年3コース（1コース2回）実施。妊娠届出時にマタニティセットを独自に作成し教室のPRをしている。 2 平成26年度より特定妊婦に限らず、第1子を中心とした妊婦訪問を実施。出産前より保健師等の専門職が関わり相談にのっている。 3 保健師・看護師による乳児全戸訪問を実施。予防接種が開始される生後2か月までに訪問し、早期に相談にのれる体制を整備。 4 乳幼児健診未受診児に電話・訪問による受診勧奨を行い、その上で連絡がつかない・会えない未受診児については、児童福祉担当と連携して状況把握のための情報収集を行っている。状況が不明な児については、さらに訪問等を実施している。 5 要保護児童対策地域協議会と連携を図り、要支援家庭や児童虐待の心配のある家庭へ支援を実施。
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 育児不安、児童虐待等困難ケースへの支援（対象者の増加） 2 人材確保とスキルアップ

<小川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子健康手帳交付時アンケートの実施と面接 2 両親学級の実施 3 新生児・未熟児訪問事業の実施 4 乳幼児健康診査の実施及び未受診児対策の推進 5 乳幼児健康相談・こども発達相談・個別心理相談・ことばの相談・療育支援教室・子育て支援センターでの発育測定・栄養相談の実施 6 養育支援訪問事業の実施 7 虐待予防の推進 8 医療機関・児童福祉・障害福祉・教育委員会等との連携 9 早期不妊検査・治療費助成事業
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子手帳交付時アンケート調査と面接にて、ハイリスク妊婦等へ早期介入し、医療機関・関係各課と連携し切れ目ない継続した支援を実施。（平成28年度母子手帳交付114件） 2 妊婦期の心身の変化や母体管理、新生児の生理や対応について、仲間づくりを意識し、年間3コース・1回3日の教室を開催。（平成28年度；参加延人数73人）

	<p>3 保健師・看護師による全戸訪問を実施。早期訪問することで、育児不安の軽減、産後うつ病の周知・啓発につなげた。 （平成28年度乳児家庭全戸訪問事業；118件）</p> <p>4 母子に関する健康情報を一元管理し、健診等に活かしている。 未受診児は早期対応、安否確認し、更に年2回未受診児を追跡把握している。（平成28年度受診率；1歳6か月児健診96.0%、3歳児健診95.5%）</p> <p>5 発達や育児に課題のある母子に対し、個別の療育相談、集団の遊びの教室を通して児の発達支援、保護者の育児支援を行っている。 （平成28年度 こども発達相談21回実施、延人員157人。親子教室12回実施、延人員109人）</p> <p>6 出生後の発育発達、育児ストレスの軽減や、軽度発達障害児等の虐待予防のための継続的な支援として保健師・保育士・助産師が訪問。 （平成28年度養育支援訪問事業；24件）</p> <p>7 虐待予防や障害のある児と母の孤立予防等、関係部局と連携を保ち育児不安の軽減・発達支援に努めている。年2回の町内保育園・幼稚園他との情報交換を実施している。</p> <p>8 要保護児童対策地域協議会・就学支援委員会・学校保健委員会他、随時関係各課と連携協働している。</p> <p>9 不妊に対しての検査及び治療に関する助成事業を平成29年度より実施（申請件数0件平成30年1月末時点）</p>
<p>今後の事業展開 ・課題等</p>	<p>1 望まない妊婦に向けた、思春期からの周知・啓発</p> <p>2 少子化対策、不妊治療の周知啓発・相談支援</p> <p>3 妊娠期からの切れ目のない母子保健支援の展開、特に産後1か月までの早期支援の充実</p> <p>4 療育支援の充実。管内他、療育資源の質・量の確保</p> <p>5 関係機関との連携・協働のもと、虐待予防・虐待防止の徹底</p>

<川島町>

<p>関連施策名</p>	<p>1 妊娠出産期における安全性の確保と相談支援体制の充実</p> <p>2 親と子の健康づくりの充実と育児不安への支援体制の充実</p> <p>3 関係機関との連携強化</p>
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 妊娠出産期の安全確保と相談支援体制の充実 （1）妊娠届時の「母のメンタルアンケート」による育児支援の必要がある妊婦や家族の把握を行い、必要に応じて訪問指導を実施。 （2）妊婦健康診査の費用助成事業 （3）マタニティ学級 ⇒H28実績 年3回(1コース2日) （4）こんにちは赤ちゃん事業 ⇒全数訪問 （5）主任児童委員による子育て見守り事業との連携⇒年4回会議</p> <p>2 親と子の健康づくりの充実と育児不安への支援体制の充実</p>

	<p>(1) 乳幼児健診対象者の全数把握の継続。発達支援教室や発達相談・乳幼児相談等により育児不安の軽減、発達に課題がある子をもつ親の不安軽減や育児支援に努める。</p> <p>○乳幼児健診受診率 ⇒H28実績 97.7%</p> <p>○乳幼児相談 ⇒H28実績 12回(相談延395人)</p> <p>○発達相談 ⇒H28実績 18回(相談延65人)</p> <p>○発達支援教室 ⇒H28実績 11回(参加延77人)</p> <p>3 児童虐待対策においては、要保護児童対策協議会へ出席し、情報を共有するとともに、必要に応じて随時ケース検討、同行訪問を実施。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 子育て支援センターとの連携体制の整備</p> <p>2 療育支援の充実と支援力の強化</p> <p>3 母親のメンタル支援者の増加、虐待リスクをもつケースの増加</p>

<吉見町>

関連施策名	1 母子の健康づくりの推進(妊婦・乳幼児健診の実施、訪問指導・健康相談の充実)
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 母子愛育会の協力の下、「こんにちは赤ちゃん事業」に取り組み 生後4カ月までに全戸訪問を実施し、家庭環境等を把握。必要に応じて保健師が訪問。支援が必要と思われる家庭に関しては、継続して訪問を実施</p> <p>2 障害を抱える家庭(親子)の理学療法・ことばの相談教室を開催。</p> <p>3 未熟児訪問については、医療機関からの情報提供を受け、保健師の訪問を実施</p> <p>4 児童虐待に関しては、吉見町要保護児童対策協議会に参加し、児童虐待等に関する情報を共有。関係課、関係機関とのケース・担当者会議の随時実施</p> <p>5 妊娠、出産、育児に関する知識・技術の習得と、仲間づくりを目的に体験学習による両親学級を年3回実施(半日2日間(土曜日 1日含む) / 1回)</p>
今後の事業展開 ・課題等	1 育児不安、児童虐待、療育不安等困難ケースへの支援 保健師による的確な情報把握、関係機関との連携、訪問、相談、支援により、育児不安の軽減、虐待防止につなげる。また、療育資源の確保に努める。

<ときがわ町>

関連施策名	<p>1 子育て世代包括支援センターの活用</p> <p>2 妊娠届時アンケートの実施、両親学級の実施</p> <p>3 新生児訪問(未熟児含)、こんにちは赤ちゃん事業、転入面接、養育支援訪問事業</p>
-------	--

	<ul style="list-style-type: none"> 4 乳幼児健康診査の実施と未受診者へのフォロー 5 乳幼児相談、発達相談、よちよち広場、子育てサロン、親子教室等の実施
これまでの主な取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 1 子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健及び子育てに関する様々な相談に円滑に対応し、切れ目のない支援を行う。 2 両親学級は、妊婦とその家族を対象に年3回土曜日開催。 3 新生児が生まれた家庭すべてを対象に訪問を行い、支援が必要と思われる家庭に関しては継続訪問。養育医療の申請があった母子については、福祉課と連絡を取りながら対応。 4 4か月、10か月、1歳6か月、2歳6か月、3歳児健診を実施。未受診者に対しては、通知や訪問にてフォローしている。 5 子育て支援センターと協働で「よちよち広場」を実施。子育て応援切符など子育て負担の軽減できるサービスについて啓発。
今後の事業展開・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 1 相談支援技術の向上 2 関係機関との連携強化 3 育児不安・児童虐待等困難ケースの増加への対応

<東秩父村>

関連施策名	<ul style="list-style-type: none"> 1 乳幼児相談、乳幼児健康診査 2 あそびの教室、育児サロン 3 乳児全戸訪問事業、養育支援訪問事業 4 未熟児訪問 5 保育園児健診、保育園児発達相談
これまでの主な取組状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> 1 乳幼児相談、乳幼児健診では、計測・診察時に虐待の兆候を把握する。また、栄養士、保健師の栄養・育児相談のほか、待ち時間等に保育士が子どもたちの遊びの状況を見守りながら保護者の相談に応じる。(単) 2 あそびの教室や育児サロンでは、子育て支援センターやハローキッズの職員と協力し、仲間づくりの機会や場を提供している。(単) 3 保健所、保育園、子育て支援センターおよび医療機関等と連携、協力しながらハイリスク児のフォローを行っている。 4 管外の保育園に在籍している児について情報、課題を把握し、就学時につなげている。(単) 5 役場内の関係部署でハイリスク家庭の情報を常に共有し、地域ケア会議等で対策を話し合っている。(単)
今後の事業展開・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 1 必要に応じて妊産婦の家庭訪問を実施し、妊娠、出産、育児への支援と心のケアを図る。 2 関係機関との連携の充実。 3 6ヶ月健診の検討。

<比企郡市歯科医師会>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 母子保健における歯科口腔保健及び食育の重要性の啓発 2 児童虐待等の早期発見への取組
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 親と子のよい歯のコンクールの実施 ※比企郡市歯科医師会主催「歯の健康まつり」において実施 小児期における歯と口腔の健康づくりが、身体の成長や生涯にわたる健康づくりの基礎となることの周知・啓発。さらに子供だけでなく、親の歯科疾患、特に歯周病予防への意識や関心の向上を促した。 2 歯科医師会会員への周知 『児童虐待防止のための早期発見・対応マニュアル』(埼玉県・埼玉県歯科医師会作成)の本会会員への周知、活用依頼
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 子供のむし歯予防への取組を通して、子供だけでなく、親の歯科疾患、特に歯周病予防への意識や関心の向上への取組が必要。(イベントや歯科講話を通しての啓発など) 2 児童虐待防止のための早期発見における歯科医療機関の役割についてのさらなる周知、啓発が必要。

<東松山保健所>

関連施策名	母子保健対策の推進
これまでの主な取組状況・成果	<p>子どもの心の問題や子ども虐待予防に対応するため、市町村関係者とともに家庭訪問や相談等を行い、育児不安や負担感のある親等への個別支援の充実に努めている。また、関係機関との情報交換、研修会により支援技術の向上と体制づくりを図っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 母子保健体制強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所別連携調整会議 2回 ・事例検討会 2回(24名) 2 親と子の心の健康づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心の健康相談 6回 ・子どもの心の問題に関する研修会 1回(119名) ・長期療養児教室 1回 ・ふれあい親子支援事業 12回 ・ふれあい親子支援事業研修会 1回 3 子ども虐待予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの虐待予防強化事業研修会 1回(42名) ・要保護児童対策地域協議会(代表者・実務者会議)への参加 ・個別事例検討会参加
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもの心の健康問題の背景は、複雑で多岐にわたり、その支援は保健、医療、福祉、教育など複数の機関が連携することが不可欠である。今後も関係機関と対応について検討し、子やその家族への支援体制を整備していくことが必要である。

	2 子ども虐待の予防には妊娠期からの切れ目のない支援が必要であり、今後も関係機関との情報共有やさらなる連携強化が必要である。また、担当者の負担も大きいことから関係者支援も重要である。
--	---

地域保健医療計画「圏域別取組」関連施策推進状況調書（平成29年度）

【川越比企保健医療圏】

圏域別取組項目	⑤歯科口腔保健対策
目 標	8020 運動の目標達成を目指し、う蝕（むし歯）と歯周疾患の予防のため、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた効果的な歯科口腔保健を推進します。また、在宅で療養する患者や老人福祉施設等の入所者が質の高い生活を送れるように歯科診療の提供及び口腔ケアの普及に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 歯科保健に関する知識の普及啓発 ■ 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 ■ 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発 ■ 口腔ケアの普及啓発

<東松山市>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 2歳児歯科健診 2 ファミリー歯科健診 3 保育園・小学校における歯科保健指導 4 成人を対象とした歯科保健事業
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 2歳6か月児を対象に歯科健診、指導、フッ化物塗布を実施。 受診率：H26 93.1% H27 93.3% H28 95.0%(単) 2 年齢を特に限定せず、乳幼児から高齢者まですべての市民を対象に歯科健診、指導を実施。また、2歳6か月～就学前児の希望者に、フッ化物塗布を実施。(単) 受診数：H26 379名 H27 298名 H28 276名 3 希望する保育園、小学校において歯科保健指導を実施。(単) 受講数：H26 2127名 H27 2160名 H28 2379名 4 口腔の健康と生活習慣病予防等の関わりに重点を置いた成人歯科保健指導、歯周病検診等を実施。(単) アンケート結果「口腔の健康維持が生活習慣病等の予防につながるということが理解できた」：H27 97.6% H28 98.4%
今後の事業展開・課題等	主に成人歯科保健事業の充実

<滑川町>

関連施策名	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼児健康診査における歯科検診、歯科保健指導の実施 2 フッ化物塗布事業の実施 3 歯周病節目健診・成人歯科検診の実施
-------	--

	<p>4 パパママ教室における歯科指導の実施</p> <p>5 家族介護支援事業における「口腔ケア教室」実施</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 28年度実績</p> <p>10ヶ月児健康診査(月1回)の際、歯科医師による歯科講話を実施。</p> <p>1歳6ヶ月児健康診査う歯罹患率：0.5%</p> <p>3歳児健康診査う歯罹患率：10.5%</p> <p>1歳6ヶ月児健診(年10回)、2歳児歯科検診(年6回)、3歳児健診(年11回)にて個別歯科指導実施。</p> <p>2 2歳児歯科検診と健康フェスティバル(希望者先着60名)で歯科指導とフッ化物塗布を実施。</p> <p>3 広報周知。年1回実施。歯周病検診は節目年齢の40・50・60・70歳の希望者先着20名を対象とし、個別歯科指導を実施。成人歯科検診は40歳以上の希望者先着20名を対象とし、歯科検診と個別歯科指導を実施。</p> <p>4 パパママ教室で口腔衛生指導を年4回実施。</p> <p>5 包括支援センター事業の家族介護教室で歯科衛生士による「口腔ケア教室」を年1回実施。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 幼児の虫歯保有率の減少</p> <p>2 成人期の口腔保健事業の推進</p>

<嵐山町>

関連施策名	<p>1 歯科検診の実施</p> <p>2 歯科保健指導及び歯科教室の実施</p> <p>3 フッ化物塗布事業の実施(単)</p> <p>4 歯科保健に関する知識の普及啓発</p> <p>5 地域の歯科保健医療サービスの情報提供</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 平成28年度実績</p> <p>1歳6か月児健康診査 受診率94.0% う歯罹患率 0.9%</p> <p>3歳児健康診査 受診率97.1% う歯罹患率 11.9%</p> <p>2 乳幼児とその親を対象に以下を実施</p> <p>9 - 10か月児 : 集団歯科指導</p> <p>1. 6歳児、3歳児：歯科検診と個別歯科指導</p> <p>3 1. 6歳児と3歳児の健康診査において、親が希望する対象児にフッ化物を塗布</p> <p>4 各事業において、対象者へ以下を実施</p> <p>乳幼児相談 : 乳幼児とその親を対象に個別歯科相談(年4回)</p> <p>介護予防事業：歯科衛生士による口腔に関する教室・相談</p> <p>5 障害者歯科診療、寝たきり歯科診療に関する情報提供</p> <p>おとなの健康づくりミーティング参加</p>

今後の事業展開 ・課題等	1 幼児のう歯罹患率ゼロ 2 口腔に関する介護予防の更なる普及啓発 3 成人歯科保健事業の体制整備
-----------------	---

<小川町>

関連施策名	1 乳幼児歯科健診及び歯科指導の実施 2 歯科保健指導 3 2次予防事業
これまでの主な 取組状況・成果	1 乳幼児歯科健診及び歯科指導 1歳6か月児、2歳児、3歳児健診時に、歯科健診と歯科衛生士による歯科指導を実施。2歳児は希望者にフッ素塗布。 2 歯科保健指導 対象：町内保育園・幼稚園の歯科担当職員 内容：歯科衛生士による講話・指導 ・歯の健康 ・歯磨きの目的 ・園での指導方法（染め出し、歯磨き方法、うがいの方法など実技・演習） 3 介護予防：歯科衛生士による口腔指導に関する講話・相談
今後の事業展開 ・課題等	1 幼児のむし歯保有率の減少 2 成人を対象とした歯科保健事業の検討

<川島町>

関連施策名	1 歯科保健に関する知識の普及啓発 2 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 3 成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の推進 4 フッ素塗布事業の実施
これまでの主な 取組状況・成果	1 歯科保健に関する知識の普及啓発 「納得！お口と身体の健康講演会」H28実績 参加数 42人 2 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化 比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療サービス事業の実施 3 成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の推進 対象者を拡大し、妊婦や子育て中の母親も受診対象とした。 H29実績 回数2回 受診数 47人（内、母親12人） 4 フッ素塗布事業等の実施 1歳6か月児健診 ⇒歯科健診+個別歯科保健指導 H28実績 受診率 100% 虫歯罹患率 3.9% 2歳児健診 ⇒歯科健診+フッ素塗布及び歯科保健指導 H28実績 受診率 94.2% 虫歯罹患率 7.0%

	<p>3歳児健診 ⇒ 歯科健診</p> <p>H28実績 受診率 97.5% 虫歯罹患率 24.4%</p> <p>町立保育所・町立小中学校において、フッ化物洗口の実施</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 幼児のむし歯罹患率の減少</p> <p>2 成人歯科健診・歯科保健指導事業の普及啓発と受診者数増加</p>

<吉見町>

関連施策名	保健サービスの充実（むし歯予防の充実）
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 受診率の向上のため、成人歯科健診を特定健診と同時実施(2日間)</p> <p>2 ボランティア団体〇8(よいは)の会と協力して、幼児のフッ素塗布事業を通じた啓発活動を実施</p> <p>3 小児に対するむし歯予防として、3歳児まで保健センターでのフッ素塗布、町内保育所、幼稚園及び小中学校でのフッ化物洗口を実施。H28年度3歳児一人あたりのむし歯本数が0.69本(平成17年度2.76本)にまで減らすことが出来ている。</p> <p>4 10年間にわたる〇8(よいは)の会と協働した取組みが、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりに寄与するものとして評価され、「第5回健康寿命をのばそう!アワード(母子保健分野)」の自治体部門で埼玉県内の自治体としては初めて厚生労働大臣優秀賞を受賞(H28年度)</p> <p>5 妊娠中、育児中の父母を対象にパパママ歯科健診(歯科健診、歯周病予防のアドバイス等)を年3回実施。</p> <p>6 慢性腎臓病予防の教室で生活歯援プログラム：「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」事業を実施。</p> <p>7 健康まつりにおいて、比企郡市歯科医師会、県歯科衛生士会北部支部の協力でブラッシング指導等を実施。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 平成26年9月に制定した「吉見町歯科口腔保健推進に関する条例」に基づく、乳幼児期から高齢期までの一貫した歯科保健事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人期の口腔保健事業の推進 ・ボランティア団体及び比企郡市歯科医師会等と協力した健康づくり推進事業と連動した事業実施

<ときがわ町>

関連施策名	<p>1 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導</p> <p>2 よい歯の教室</p> <p>3 高齢者の歯科教室</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 歯科検診</p> <p>10か月健診：歯科衛生士による指導</p> <p>1歳6か月児健診：歯科検診、歯科指導、歯科医師による講話</p>

	<p>2歳6か月児健診：歯科検診、歯科指導 3歳児健診：歯科検診、歯科指導</p> <p>2 よい歯の教室 対象：1歳6か月～9歳位まで 回数：年3回実施（7月、12月、3月） 内容：歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布 健康教育（歯科医師の講話・歯科衛生士のエプロンシアターなど）</p> <p>3 介護予防事業での歯科指導 介護予防サポーター講座での歯の健康に関する研修会を実施。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 大人のむし歯保有率の減少</p> <p>2 口腔に関する介護予防の更なる普及啓発</p>

<東秩父村>

関連施策名	<p>1 成人歯科相談(乳幼児歯科相談と同日実施)</p> <p>2 よい歯のコンクール「母と子部門」「8020部門」</p> <p>3 ヘルシー教室(歯科医師の講話、歯科衛生士によるエプロンシアター等)</p> <p>4 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導</p> <p>5 乳幼児歯科相談(おはなしの部屋)</p> <p>6 保育園児歯科検診</p>
これまでの主な 取組状況・成果	<p>1 よい歯のコンクール後、東松山保健所管内「歯の健康まつり」(比企郡市歯科医師会主催)に参加。</p> <p>2 乳幼児健診では、9～10ヶ月児から歯科検診・指導を実施。また、1歳6ヶ月児からフッ化物塗布を実施している。(単)</p> <p>3 乳幼児歯科相談において、歯みがき指導、フッ化物について解説、勧奨。歯周病予防の指導を実施している。(単)</p> <p>4 保育園健診時に親が希望する全児にフッ化物塗布実施。(単)</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 比企郡歯科医師会による障害者歯科ネットワークに参加していく。</p> <p>2 管内の歯科医療機関と連携して、地域歯科保健の充実に努める。また、医療機関の情報提供に努める。</p>

<比企郡市歯科医師会>

関連施策名	<p>1 地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動</p> <p>2 在宅・病院・施設における要介護者等の歯科保健医療サービスの提供と確保 (『比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療システム』『比企郡市地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点』の活用)</p> <p>3 ライフステージごとの歯科口腔保健の推進</p> <p>4 医科歯科連携の推進(がん診療、糖尿病対策等)</p>
-------	--

	<p>5 住民参加型健口(けんこう)づくり活動の推進と協力 6 歯科口腔保健に関わる関係職種との連携の推進</p>
<p>これまでの主な 取組状況・成果</p>	<p>1 地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動 (1) 第22回『歯の健康祭り』(平成29年度パトリアおがわ・小川町総合福祉センター) 来場者424名 スタッフ94名(歯科医師会54名、歯科衛生士会9名、東松山保健所1名、市町村10名、来賓2名、事務局3名、住民協力10名) ➤ 歯科健診、歯科相談、フッ化物歯面塗布の他、各種イベントを通して、口腔内の健康の重要性について有用な情報を提供し、地域住民の口腔内の健康への関心、意識の向上に寄与できたと考える。 歯科口腔保健に関わるコンクールの実施 「むし歯予防ポスターコンクール」「親と子のよい歯のコンクール」「8020よい歯のコンクール」 ➤ 全ての年代層に対して、生涯にわたる歯と口腔の健康の重要性について周知、啓発 (2) 平成29年度市民公開講座『食から始める健康長寿一タニタの健康セミナー』 ※「②生活習慣病の改善を含む健康増進対策の推進」の再掲 2 在宅・病院・施設における要介護者等の歯科保健医療サービスの提供と確保 (1) 『比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療システム』の推進 対象地域 → 埼玉県比企保健医療圏(管内8市町村及び鳩山町) 当該医療圏における要介護者等の歯科保健医療サービスを確保するため、平成7年10月より本システムを構築・運営。 要介護高齢者等に対する歯科保健医療の確保は、口腔疾患の治療と予防、機能の維持と向上・回復を通じて、要介護者等の自立支援、介護家族の負担軽減、生活の質(QOL)の向上につながる。 (2) 『比企郡市地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点』の設置 平成27年3月地域医療介護総合確保基金事業により設置。 『比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療システム』で対応できなかった病院や施設への訪問歯科診療に対応可能。 ➤ 『比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療システム』『比企郡市地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点』を活用し、在宅・病院・施設における歯科治療を必要とする寝たきり者に対して、専門的な立場から歯科医療を提供できたと考える。 3 ライフステージごとの歯科口腔保健の推進 (1) 乳幼児期 1.6歳児、3歳児歯科健診(法定)及び2歳児歯科健診等の実施 幼稚園、保育所における歯科健診等の実施 住民(乳幼児・小児の保護者)を対象とした歯科講話の実施</p>

→ 乳幼児期のお口の健康づくりが生涯にわたっての健康維持につながることを普及啓発。

東松山市子育て支援センター歯科講話（H29・年1回）
滑川町10ヶ月児健診歯科講話（H29・年11回/年）
吉見町子育て支援センター08の会サマーイベント（H29・年1回）

（2）学童期

小中学校、高校における歯科健診、歯科保健教育活動等の実施
フッ化物洗口
埼玉県小児う蝕予防対策事業の実施

→ 埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づき設定。比企郡市管内市町村における健康格差是正を目的に、科学的根拠に基づくフッ化物応用（フッ化物洗口）の実施を推進。

<比企管内フッ化物洗口実施市町>

東松山市…平成28年12月より私立保育所にて実施
吉見町…平成22年3月より町内全施設（幼稚園・保育所・小学校・中学校）にて実施

※先駆施設として平成29年8月厚生労働省歯科医療官視察
滑川町…平成26年9月より町内全小学校にて実施
川島町…平成27年5月より町内全保育所・小学校・中学校にて実施。12月より私立幼稚園にて実施

（3）成人期

妊産婦歯科健診、保健指導、保健教育の実施（東松山市）
歯周疾患検診の実施（東松山市、川島町、滑川町、吉見町）

※日本歯科医師会「生活歯援プログラム」を活用しての実施
受診者の健康にかかわる生活習慣や環境を改善し、歯科疾患と口腔機能を維持することによって、全身の健康へ寄与を目指す。

川島町成人歯科健診
東松山市「大人のための健康歯援プログラム」
※「②生活習慣病の改善を含む健康増進対策の推進」の再掲
生活習慣病と歯科口腔保健の関わりについての歯科講話等の実施
東松山市腎臓病予防教室における歯科講話の実施
吉見町高齢者教室における歯科講話の実施
吉見町慢性腎臓病(CKD)予防教室における歯科講話及び保健指導の実施

※「②生活習慣病の改善を含む健康増進対策の推進」の再掲

（4）高齢者・要介護者

口腔機能の向上ならびに口腔衛生状態の改善を促し、歯と口腔の健康維持が全身の健康増進につながり、健康寿命の延伸につながることを啓発。

東松山市総合福祉エリア地域支援包括センターの一次・二次予防事業として高齢者を対象に、市内一地区において歯科講話ならびに歯科

	<p>相談を実施。</p> <p>4 医科歯科連携の推進 がん診療医科歯科連携事業の推進 本会会員に対して「全国共通がん診療医科歯科連携講習会」を開催。会員の約半数となる38連携登録歯科医療機関が登録。 「埼玉県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」事業への対応 本会会員に対して「生活習慣病対策への歯科からのアプローチ」の研修会を開催。会員の意識向上、疾患への対応について研修。</p> <p>5 『吉見町〇8（よいは）の会』の継続的な協力と支援 平成17年発足、主に乳幼児のう蝕（むし歯）予防へのボランティア活動している、県内では数少ない歯科に関わる住民参加型ボランティアグループ。 発足12年を迎え、乳幼児のむし歯予防だけでなく、成人期・高齢期にかけてもお口の健康づくりの重要性について、町内におけるイベントや事業を通じて、地域住民に対して自発的に啓発へ活動範囲を拡大し活動している。 比企郡市歯科医師会会員が協力歯科医院として協力体制を構築。</p> <p>6 保健所歯科口腔保健連携会議の開催 県内の歯科保健状況や歯科保健計画、及び（一社）埼玉県歯科医師会の歯科保健事業について、各市町村の歯科保健担当者に情報提供。 平成29年度は昨年度に引き続き「生活習慣病対策への歯科からのアプローチ」をメインテーマに開催。 東松山保健所管内の現在の取組の事例報告として、事業所健保組合の歯科保健への取組状況、および鳩山町「健康生活歯援プログラム（H29年新規事業）」について報告していただいた。</p>
今後の事業展開 ・課題等	<p>1 「埼玉県歯科口腔保健の推進に関わる条例」に基づき策定された「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に掲げられている各施策の実施、指標達成に向けて、比企郡市管内の各市町村と協力して推進していく必要があると考える。</p> <p>2 国策である地域包括ケアシステムの構築において、『比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療システム』『比企郡市地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点』は、比企郡市管内における在宅・病院・施設における歯科医療の充実を図る上でもたいへん重要な役割を担うシステム・地域拠点であると考え。今後さらなる管内市町村でのシステムの周知、活用が必要である。 また、在宅・病院・施設における他職種との連携をさらに進めていくことが重要であると考え。</p> <p>3 「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に基づく「埼玉県小児う蝕予防対策事業」において、今後も比企郡市管内の市町村での科学的根拠に基づくフッ化物応用（フッ化物洗口）の実施されるよう、対象市町村教育委員会をはじめ学校歯科医等による小学校への訪問・説明及び科学的根拠に基づく情報提供や継続的なサポートを行っていく必要がある。</p>

	<p>4 今後生涯にわたっての歯と口腔の健康維持し健康寿命の延伸のためには、成人期における歯科保健対策が重要である。特に埼玉県『糖尿病性腎症重症化予防プログラム』を確実に進めていくためには、あらゆる機会を活用しての対象者への継続的なアプローチが必要と考える。そのため歯科からのアプローチとして、歯周病と生活習慣病、全身の健康への深い関係について、本会会員及び各市町村歯科保健担当者への更なる周知と理解、そして地域住民への啓発が必要である。</p> <p>5 生涯に渡る健康づくりを推進していくためには、地域住民の健康長寿への関心や意識の向上が必須である。そのためにも吉見町〇8(よいは)の会の取組のような当事者である地域住民とともに協働する『住民参加型の健康づくり』への活動と取組が必要と考える。</p>
--	--

<東松山保健所>

関連施策名	圏域における歯科保健事業の推進
これまでの主な取組状況・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 保健所歯科口腔保健連携会議の開催 2 地域歯科保健連携事業の実施 3 「歯の健康祭り」への協力 4 「市民公開講座」への協力 <p>平成23年度から保健所歯科口腔保健連携会議において、歯科保健について、地域の歯科医師と検討を行っている。</p> <p>比企郡市歯科医師会と「歯の健康祭り」及び「市民公開講座」を共催し、歯科保健の普及啓発に努めている。</p>
今後の事業展開・課題等	<ol style="list-style-type: none"> 1 管内の一部市町村の小・中学校において、フッ化物洗口等が徐々に進められている。また、成人歯科健診についても、生活習慣病予防を目指した「生活歯援プログラム」を導入・実施している市町村が増えてきている。 2 各ライフステージにおける地域の歯科保健事業の実態を把握し、管内関係機関がより効果的な対策を行えるような仕組づくりを行い、生活習慣病予防の視点を踏まえた生涯を通じた歯科保健の推進が重要である。